

新型コロナウイルス感染症対策の進捗に関する関係閣僚会議 (第5回)

日時：令和3年8月4日(水)

14時30分～15時00分

場所：官邸2階 大ホール

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の進捗について

3. 閉 会

(配布資料)

資料1 厚生労働省提出資料

資料2 内閣官房(新型コロナウイルス感染症対策推進室)提出資料

資料3 河野国務大臣室提出資料

最近の感染状況等について

令和3年8月4日(水)

厚生労働省

新型コロナウイルス感染症の発生状況

【国内事例】括弧内は前日比

※令和3年8月3日24時時点

	PCR検査 実施人数(※3)	陽性者数	入院治療等を要する者		退院又は療養解除と なった者の数	死亡者数	確認中(※4)
				うち重症者			
国内事例(※1,※5) (チャーター便帰国 者を除く)	17,807,854 (+83,159)	952,861 (+12,062)※2	86,144 (+6,571)	777 (+23) ※6	849,241 (+4,712)	15,212 (+15)	2,742 (+296)
空港・海港検疫	900,435 (+2,783)※7	3,531 (+14)	173 (-8)	0	3,351 (+22)	7	0
チャーター便 帰国者事例	829	15	0	0	15	0	0
合計	18,709,118 (+85,942)	956,407 (+12,076)※2	86,317 (+6,563)	777 (+23) ※6	852,607 (+4,734)	15,219 (+15)	2,742 (+296)

- ※1 チャーター便を除く国内事例については、令和2年5月8日公表分から(退院者及び死亡者については令和2年4月21日公表分から)、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 新規陽性者数は、各自治体がプレスリリースしている個別の事例数(再陽性例を含む)を積み上げて算出したものであり、前日の総数からの増減とは異なる場合がある。
- ※3 一部自治体については件数を計上しているため、実際の人数より過大となっている。件数ベースでウェブ掲載している自治体については、前日比の算出にあたって件数ベースの差分としている。前日の検査実施人数が確認できない場合については最終公表時点の数値との差分を計上している。
- ※4 PCR検査陽性者数から入院治療等を要する者の数、退院又は療養解除となった者の数、死亡者の数を減じて厚生労働省において算出したもの。なお、療養解除後に再入院した者を陽性者数として改めて計上していない県があるため、合計は一致しない。
- ※5 国内事例には、空港・海港検疫にて陽性が確認された事例を国内事例としても公表している自治体の当該事例数は含まれていない。
- ※6 一部の都道府県における重症者数については、都府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室(ICU)等での管理が必要な患者は含まれていない。
- ※7 令和2年7月29日から順次、抗原定量検査を実施しているため、同検査の件数を含む。なお、空港・海港検疫の検査実施人数等については、公表日の前日の0時時点で計上している。

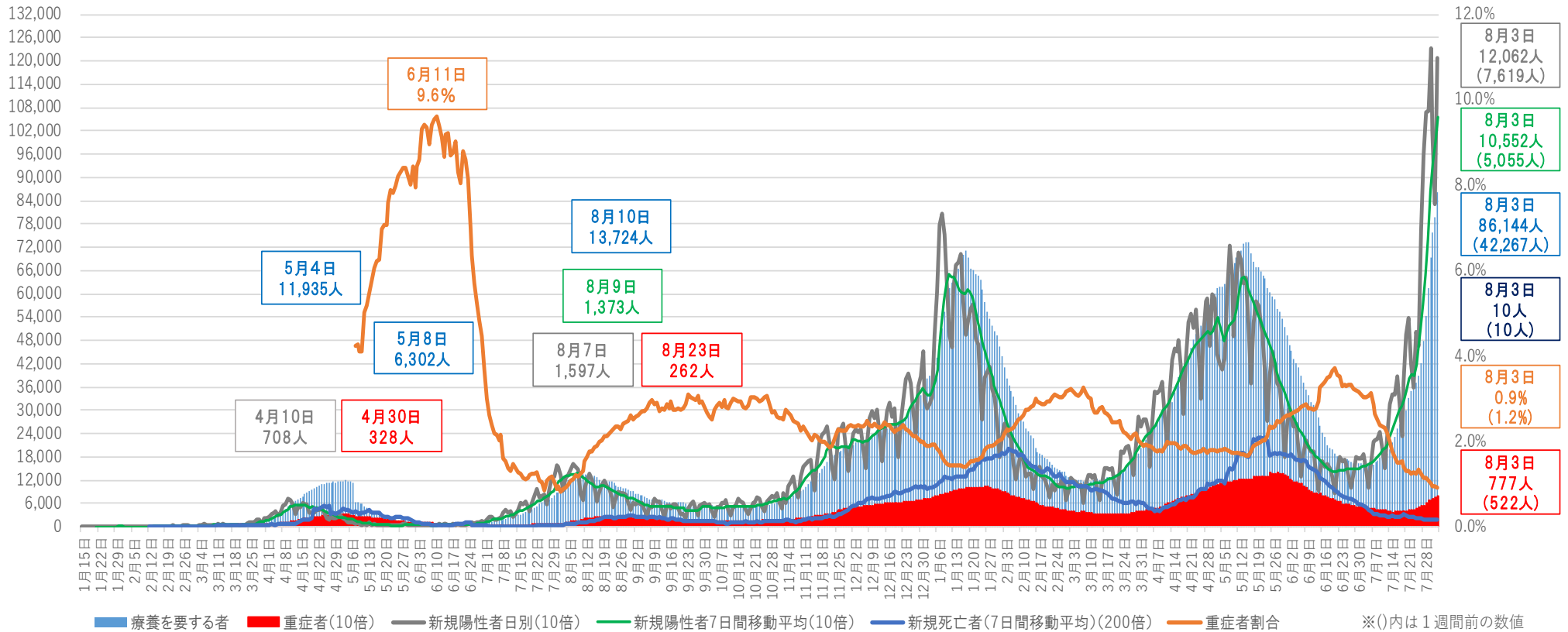
【上陸前事例】括弧内は前日比

	PCR検査陽性者 ※【 】は無症状病原体保有者数	退院等している者	人工呼吸器又は集中治療室 に入院している者 ※4	死亡者
クルーズ船事例 (水際対策で確認) (3,711人) ※1	712 ※2 【331】	659 ※3	0 ※6	13 ※5

- ※1 那覇港出港時点の人数。うち日本国籍の者1,341人
- ※2 船会社の医療スタッフとして途中乗船し、PCR陽性となった1名は含めず、チャーター便で帰国した40名を含む。国内事例同様入院後に有症状となった者は無症状病原体保有者数から除いている。
- ※3 退院等している者659名のうち有症状364名、無症状295名。チャーター便で帰国した者を除く。
- ※4 37名が重症から軽～中等症へ改善(うち37名は退院)
- ※5 この他にチャーター便で帰国後、令和2年3月1日に死亡したとオーストラリア政府が発表した1名がいる。
- ※6 新型コロナウイルス関連疾患が軽快後、他疾患により重症の者が1名いる。

重症者・新規陽性者数等の推移

療養を要する者・重症者・新規陽性者・新規死亡者（人）



- ※1 チャーター便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 重症者割合は、集計方法を変更した令和2年5月8日から算出している。重症者割合は「療養を要する者」に占める重症者の割合。
- ※3 療養を要する者・重症者と新規陽性者及び新規死亡者は表示上のスケールが異なるので（新規陽性者及び重症者数は10倍、新規死亡者は200倍に拡大して表示）、比較の場合には留意が必要。
- ※4 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。
- ※5 集計方法の主な見直し：令和3年5月19日公表分から沖縄県について、令和3年5月26日公表分から大阪府・京都府について、重症者の定義を従来の自治体独自の基準から国の基準に変更し集計を行った。

直近の感染状況の評価等

<感染状況について>

- ・ 全国の新規感染者数は、報告日別では、今週先週比が2.09と急速な増加が続き、直近の1週間では10万人あたり約59と過去最大の規模となっている。東京を中心とする首都圏だけでなく、全国の多くの地域で新規感染者数が急速に増加しており、これまでに経験したことのない感染拡大が継続している。また、感染者数の急速な増加に伴い、これまで低く抑えられていた重症者数も増加が続いている。

実効再生産数：全国的には、直近（7/18時点）で1.35と1を上回る水準が続いており、首都圏では1.33、関西圏では1.30となっている。報告日別の新規感染者数の動きを見ると、さらに上昇することが見込まれる。

<感染状況の分析【地域の動向等】> ※新規感染者数の数値は、報告日ベースの直近1週間合計の対人口10万人の値

首都圏 (1都3県)	東京では、緊急事態措置が続いているが、新規感染者数は今週先週比が1.89と急速な増加が続き、約168。年末年始を超える過去最大の規模の感染拡大。20-40代が中心。入院者数では20-50代を中心に増加が継続。人工呼吸器又は人工心肺を使用している重症者数では、40-50代を中心として増加傾向が継続。いずれも5月の感染拡大時を越える水準となっている。感染者の急増に伴い、自宅待機を余儀なくされる者や調整中の者が急増。さらに、一般医療の制限も生じている。埼玉、千葉、神奈川でも新規感染者数は20-30代中心に急増が続き、それぞれ約86、80、103。3県とも今週先週比が2を越えており急速に増加。東京では夜間滞留人口は微減にとどまっており、先週後半には増加に転じた。一方、埼玉、千葉でも夜間滞留人口の大きな減少が見られておらず、首都圏では当面は感染拡大の継続が避けられない状況。
沖縄	緊急事態措置が続いているが、新規感染者数は今週先週比が2.17と急速な増加が続き、約179。20-30代が中心。入院者数は急速に増加しており、病床使用率及び重症病床使用率は厳しい状況となっている。4連休中に大幅に減少した夜間・昼間の滞留人口は再度増加に転じており、感染拡大が続くことが避けられない状況。
関西圏	大阪では、新規感染者数は今週先週比が1.90と急速な増加が続き、約69。20-30代が中心。入院者数は増加が続き、重症者数も増加に転じている。夜間滞留人口は、依然高い水準でありながら増加傾向がみられ、感染拡大が続くことが予測される。京都、兵庫でも、新規感染者数の増加が続き、それぞれ、約46、38。いずれも、重症病床使用率は2割を切る水準が継続しているが、夜間滞留人口は依然高い水準が続いており、感染拡大が継続する可能性が非常に高い。滋賀、奈良、和歌山でも新規感染者数が急速な増加がみられ、それぞれ、約26、31、27。
北海道/ 石川/福岡	まん延防止等重点措置(重点措置)が適用された北海道、石川、福岡では、新規感染者数の急増が続き、それぞれ約33(札幌市56)、56、60。いずれも、重症病床使用率は2割を切る水準が継続。いずれも夜間滞留人口の減少が見られるが、北海道では、依然高い水準であり、感染の拡大が継続する可能性が非常に高い。
上記以外	重点措置が解除された愛知では、新規感染者数は今週先週比が2.24と急速に増加し、約22。重症病症は2割を切る水準が継続。その他の地域でもほぼすべての地域で急速な新規感染者数の増加が見られており、特に、福島、茨城、栃木、群馬、福井、山梨、鳥取、岡山、熊本では、それぞれ33、46、42、36、27、31、30、25、29と25を越え、今週先週比も2を超える水準で急速な感染拡大となっている。

＜変異株に関する分析＞

- ・ B.1.617.2系統の変異株(デルタ株)は、スクリーニング検査での陽性率(機械的な試算、7/19-7/25)が約45%。上昇が続いており、置き換わりが進んでいる。特に、東京では、5割を超えており、直近では約9割に達すると推計されている。

＜今後の見通しと必要な対策＞

- ・ デルタ株への置き換わりが進む中で、滞留人口の減少も限定的で、感染者数がこれまでにないスピードで増大しているため重症者数も急速に増大している。比較的若い層の重症者だけでなく、高齢者でも絶対数として増えていることにも注意が必要。死亡者はまだ少ない状態で推移しているが、重症例が増加していること、死亡例の発生には遅れがあることなどから今後死亡例も増加に転じていく可能性がある。現下の急速な感染拡大を速やかに抑えることが必要であり、改めて、こうした危機感を行政と市民が共有して対応し、接触の機会を更に削減する方策を検討することが必要。

★最大限に効率的な医療資源活用の必要性

医療・公衆衛生体制への負荷に関し、特に、感染が急拡大している東京では20-50代を中心に入院者の増加が続き、またこれまでとは違い40-50代の重症者が急激に増えており、既に一般医療の制限が生じている。熱中症などで救急搬送が増加するなど一般医療の負荷も増加する中で、通常であれば助かる命も助からない状況になることも強く懸念される。その他の感染が拡大している地域でも、東京と比べ医療体制に限られる中で、今後同様の状況が生じることが強く懸念される。一方、ワクチン接種の進展に伴い、患者像が変化してきている。こうした中で、感染が急拡大する地域では、それぞれの地域の状況を踏まえ、重症者や中等症でも重症化リスクの高い者が確実に入院できる体制を確保しつつ、自宅待機者への往診の強化、宿泊療養施設への医療の投入に加え、自宅療養・宿泊療養者での健康観察を促進する。さらに往診、訪問看護等の地域の医療資源を最大限活用して、重症化に迅速に対応できる体制を早急に整備することにより、必要な医療を確保することが求められる。

★夏休みに向けて基本的対策の徹底を

感染は商業施設を含む職場や学校など地域にも急速に広がっている。飲食の場面への対策は引き続き徹底し、飲食を介した家庭内や職場への伝播を徹底的に防ぐ必要がある。改めて、マスク、手指衛生、人との距離の確保、換気などの基本的感染防止対策のほか、業種別ガイドラインの再徹底、職場での感染防止策の強化とテレワーク推進、有症状者の出社の自粛などを徹底すべき。特にマスクについては、飛沫防止効果の高い不織布マスクなどの活用を推奨する。今後の3連休、夏休み、お盆休みにおいて普段会わない人と会う機会が感染リスクを高めるため、県境を越えた移動は控えること。さらに、少しでも体調が悪い場合、軽い症状でも早めの受診、積極的な検査、適切な療養に繋げることが必要。こうした取組をしっかりと発信していくことが重要。

直近の感染状況等（1）

○新規感染者数の動向（対人口10万人（人））

	7/14～7/20	7/21～7/27	7/28～8/3
全国	18.25人（23,022人）↑	28.05人（35,386人）↑	58.54人（73,862人）↑
北海道	11.90人（625人）↑	16.06人（843人）↑	32.69人（1,716人）↑
埼玉	26.93人（1,979人）↑	42.57人（3,129人）↑	86.22人（6,337人）↑
千葉	26.67人（1,669人）↑	39.51人（2,473人）↑	80.41人（5,033人）↑
東京	59.33人（8,260人）↑	88.63人（12,338人）↑	167.82人（23,362人）↑
神奈川	33.20人（3,054人）↑	45.43人（4,179人）↑	102.79人（9,455人）↑
愛知	6.77人（511人）↑	9.86人（745人）↑	22.09人（1,668人）↑
京都	11.11人（287人）↑	18.97人（490人）↑	45.72人（1,181人）↑
大阪	23.91人（2,106人）↑	36.33人（3,200人）↑	68.90人（6,069人）↑
兵庫	10.98人（600人）↑	15.99人（874人）↑	37.50人（2,050人）↑
福岡	9.78人（499人）↑	21.47人（1,096人）↑	59.86人（3,055人）↑
沖縄	38.47人（559人）↑	82.59人（1,200人）↑	179.15人（2,603人）↑

○検査体制の動向（検査数、陽性者割合）

	7/5～7/11	7/12～7/18	7/19～7/25
全国	422,933件↓ 3.3% ↑	444,500件↑ 4.7% ↑	413,509件↓ 7.1% ↑
北海道	16,180件↑ 2.2% ↑	16,282件↑ 3.4% ↑	15,187件↓ 4.9% ↑
埼玉	35,962件↓ 2.7% ↑	57,796件↑ 3.0% ↑	54,359件↓ 4.8% ↑
千葉	17,003件↓ 6.8% ↑	15,841件↓ 9.7% ↑	15,287件↓ 13.0% ↑
東京	107,768件↓ 4.8% ↑	100,845件↓ 7.4% ↑	98,824件↓ 10.3% ↑
神奈川	25,626件↑ 7.8% ↑	22,964件↓ 12.2% ↑	19,920件↓ 18.7% ↑
愛知	11,084件↑ 3.6% ↑	10,024件↓ 4.9% ↑	10,181件↑ 6.2% ↑
京都	5,949件↓ 2.6% ↑	6,576件↑ 3.9% ↑	6,249件↓ 6.2% ↑
大阪	52,638件↑ 1.9% ↑	46,845件↓ 4.1% ↑	46,621件↓ 5.6% ↑
兵庫	9,285件↓ 2.8% ↑	10,371件↑ 5.1% ↑	10,747件↑ 6.6% ↑
福岡	12,764件↑ 2.3% ↑	14,326件↑ 3.2% ↑	9,785件↓ 8.4% ↑
沖縄	12,330件↓ 2.7% ↓	14,195件↑ 3.3% ↑	11,294件↓ 8.1% ↑

※ ↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

直近の感染状況等（2）

○入院患者数の動向（入院者数(対受入確保病床数)

○重症者数の動向（入院者数(対受入確保病床数)

	7/13	7/20	7/28	7/13	7/20	7/28
全国	6,513人(18.1%) ↑	8,139人(22.3%) ↑	10,628人(29.0%) ↑	880人(17.7%) ↑	995人(18.9%) ↑	1,271人(24.1%) ↑
北海道	289人(14.5%) ↓	285人(14.3%) ↓	383人(19.2%) ↑	11人(7.4%) ↓	8人(5.4%) ↓	7人(4.7%) ↓
埼玉	457人(27.4%) ↑	659人(39.6%) ↑	857人(51.4%) ↑	26人(15.8%) ↑	28人(17.0%) ↑	39人(23.6%) ↑
千葉	439人(34.4%) ↑	536人(42.0%) ↑	581人(45.6%) ↑	16人(15.8%) →	18人(17.8%) ↑	23人(22.8%) ↑
東京	2,011人(31.8%) ↑	2,456人(38.3%) ↑	2,981人(46.5%) ↑	538人(44.6%) ↑	637人(52.8%) ↑	773人(64.0%) ↑
神奈川	544人(30.4%) ↑	619人(34.6%) ↑	744人(41.6%) ↑	38人(19.1%) ↑	40人(20.1%) ↑	57人(28.6%) ↑
愛知	178人(11.7%) ↓	212人(14.0%) ↑	216人(14.3%) ↑	13人(8.9%) ↑	10人(6.8%) ↓	8人(5.5%) ↓
京都	68人(13.7%) ↑	122人(24.5%) ↑	201人(40.4%) ↑	4人(4.7%) ↓	6人(7.0%) ↑	8人(9.3%) ↑
大阪	471人(16.5%) ↑	628人(20.3%) ↑	807人(26.1%) ↑	108人(11.7%) ↓	135人(11.2%) ↓	209人(17.3%) ↑
兵庫	147人(12.1%) ↓	256人(21.1%) ↑	345人(28.4%) ↑	15人(10.9%) ↓	13人(9.5%) ↓	19人(13.9%) ↑
福岡	143人(10.1%) ↑	181人(12.8%) ↑	222人(15.7%) ↑	9人(4.5%) ↓	8人(4.0%) ↓	8人(4.0%) →
沖縄	253人(36.2%) ↓	233人(33.0%) ↓	384人(54.5%) ↑	40人(61.5%) ↓	40人(64.5%) ↑	44人(62.9%) ↑

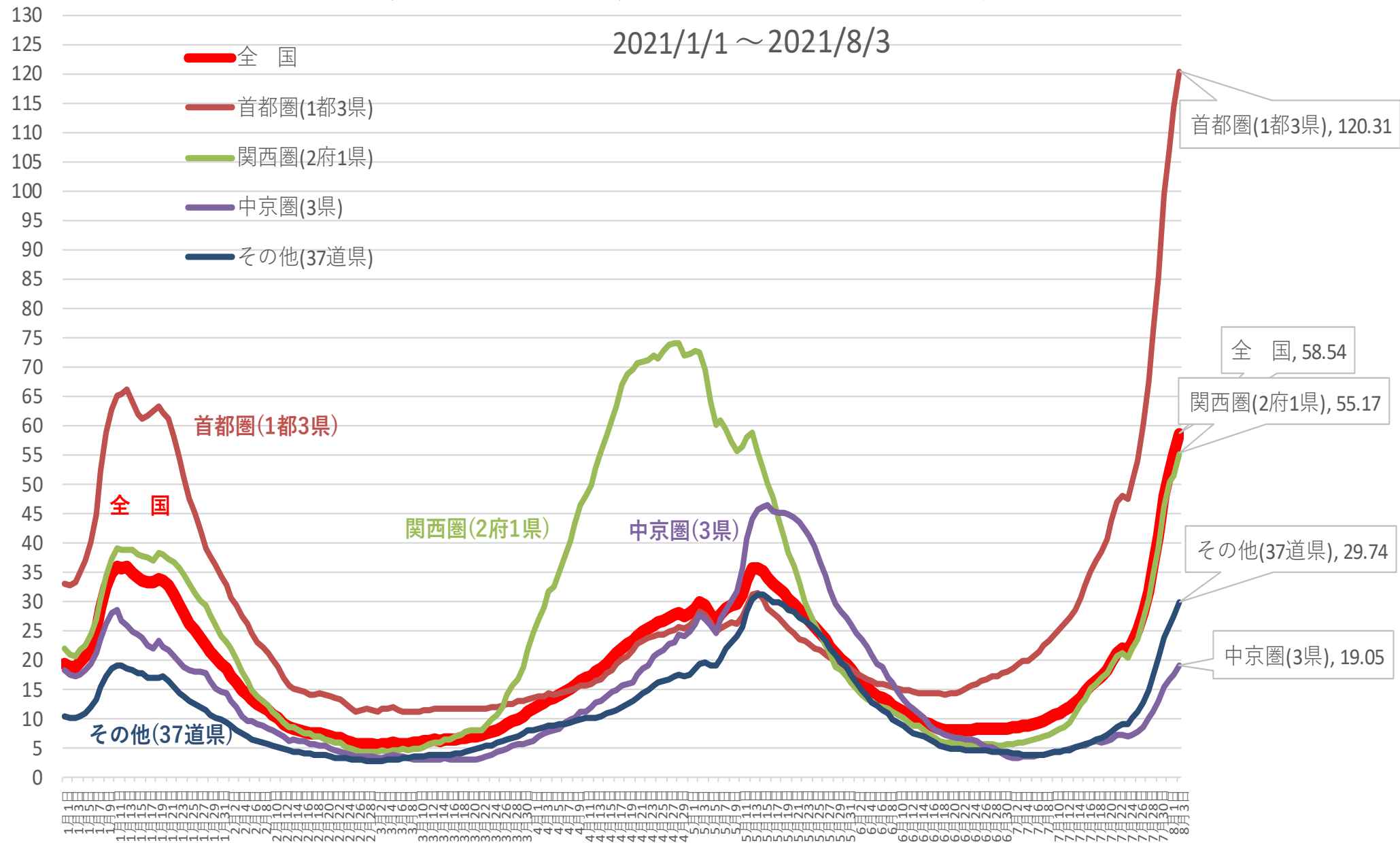
※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。
 ↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

(人)

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [圏域ごと]（対人口10万人）

2021/1/1 ~ 2021/8/3

- 全 国
- 首都圏(1都3県)
- 関西圏(2府1県)
- 中京圏(3県)
- その他(37道県)

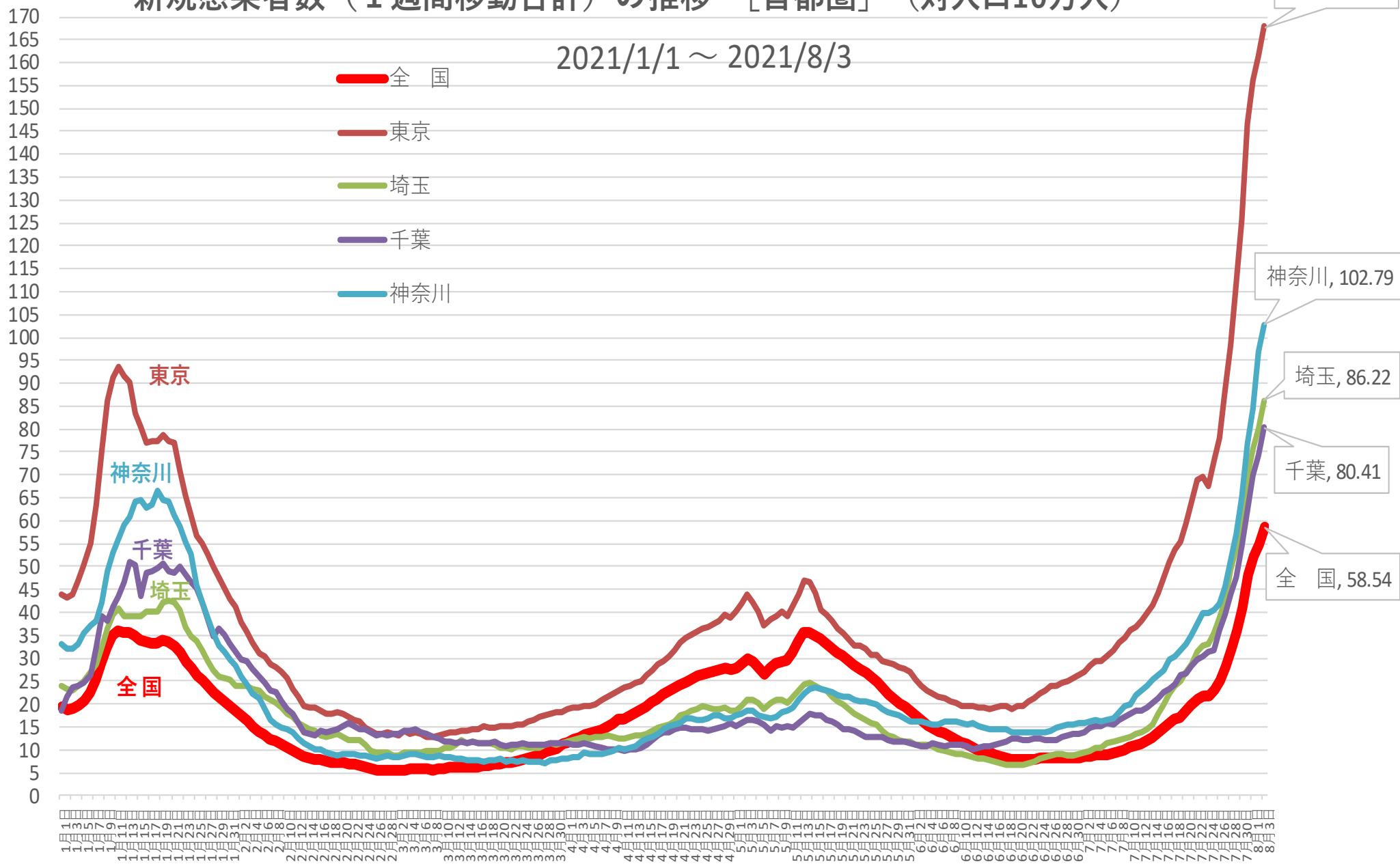


※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

(人)

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [首都圏]（対人口10万人）

2021/1/1 ~ 2021/8/3



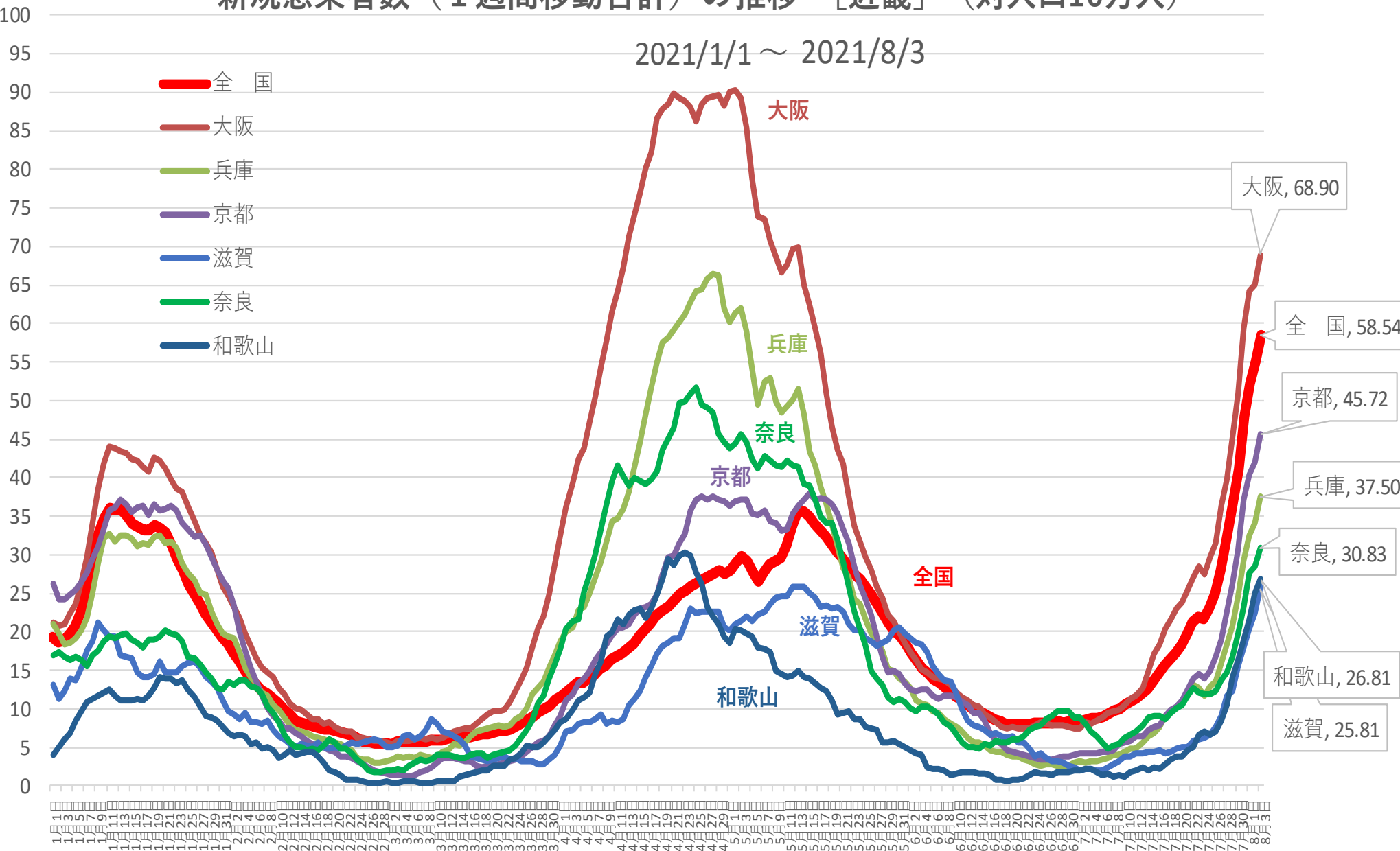
※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

(人)

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [近畿]（対人口10万人）

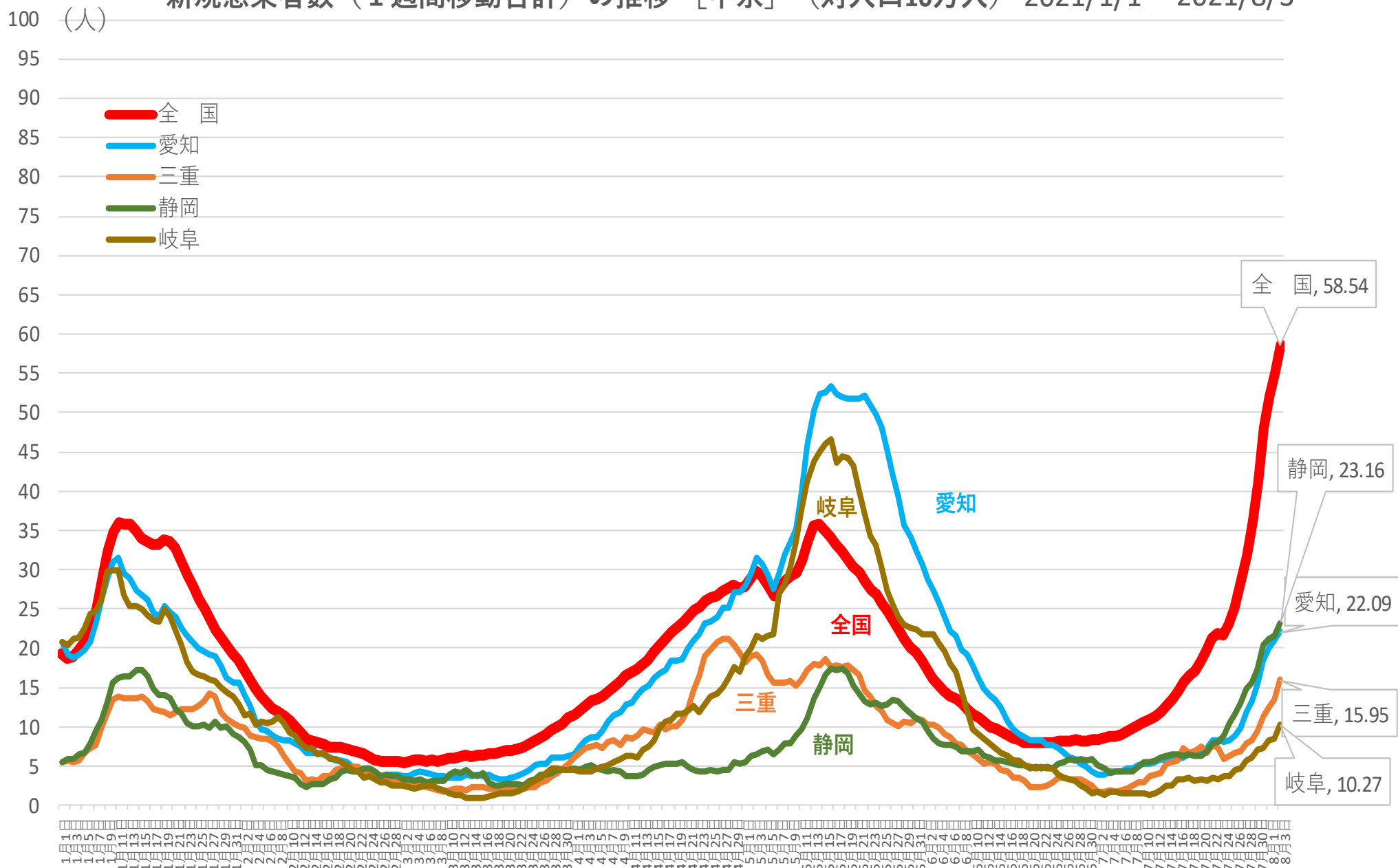
2021/1/1 ~ 2021/8/3

- 全国
- 大阪
- 兵庫
- 京都
- 滋賀
- 奈良
- 和歌山



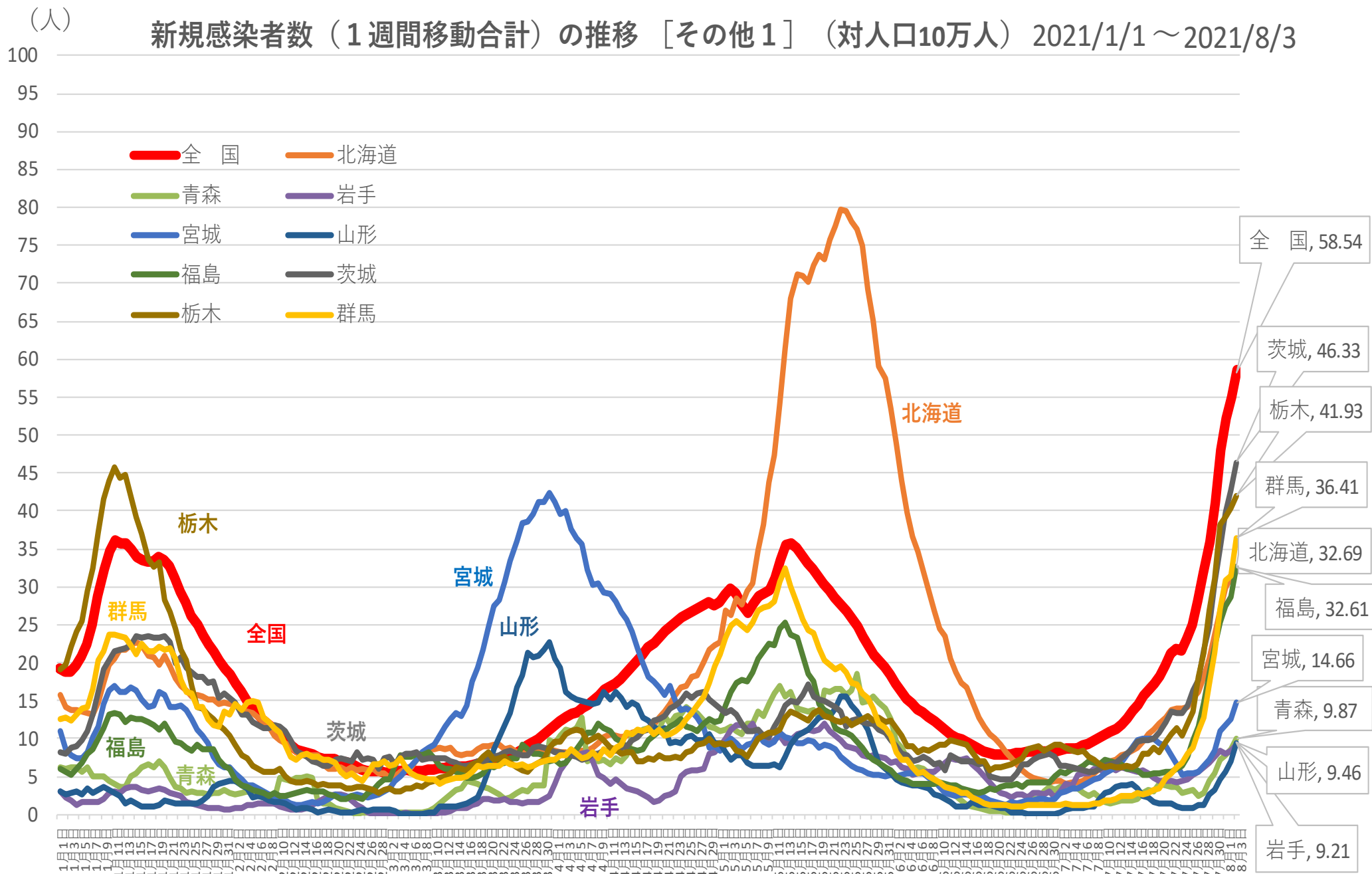
※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [中京]（対人口10万人） 2021/1/1～2021/8/3

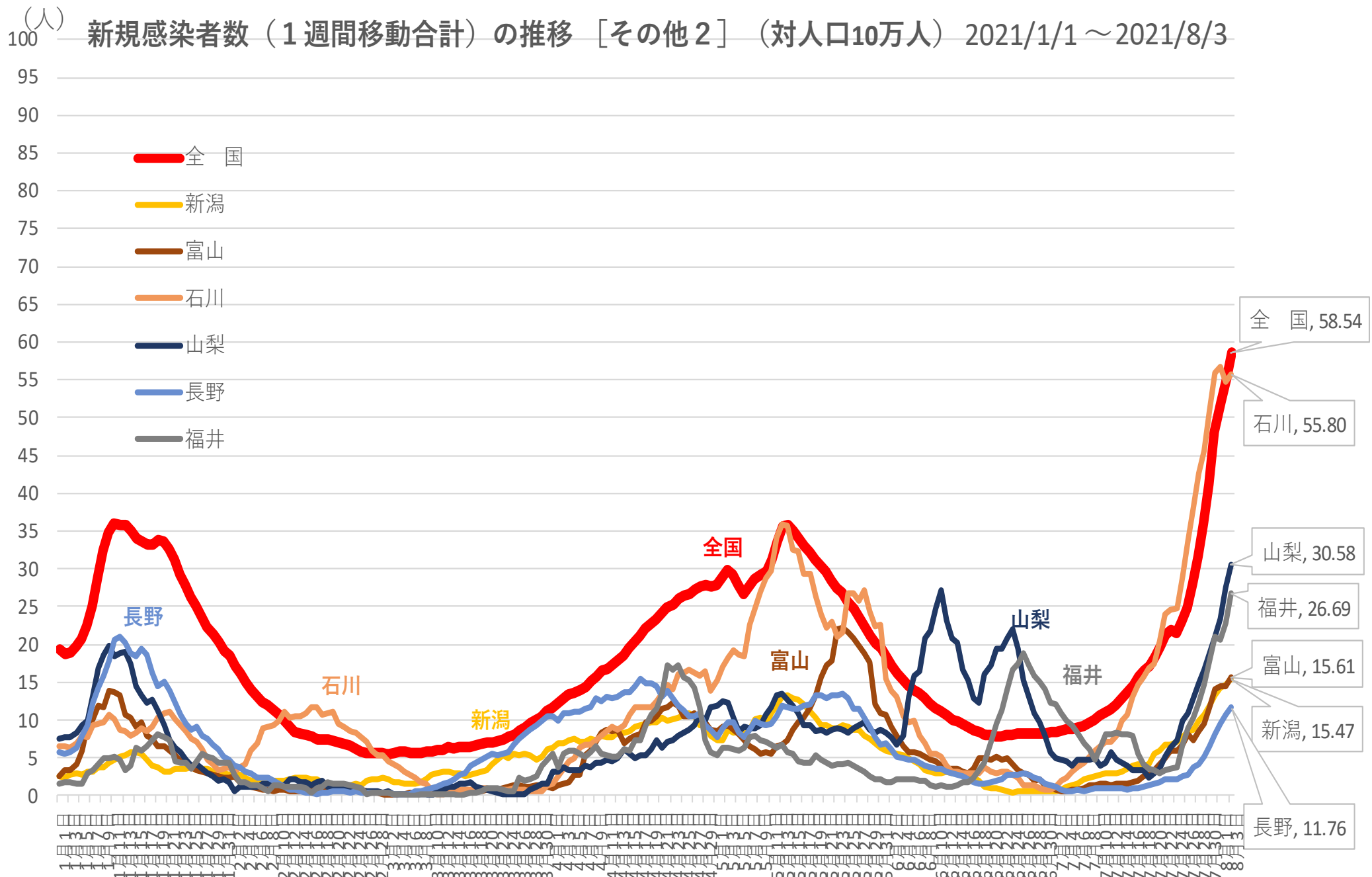


※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [その他1]（対人口10万人） 2021/1/1～2021/8/3

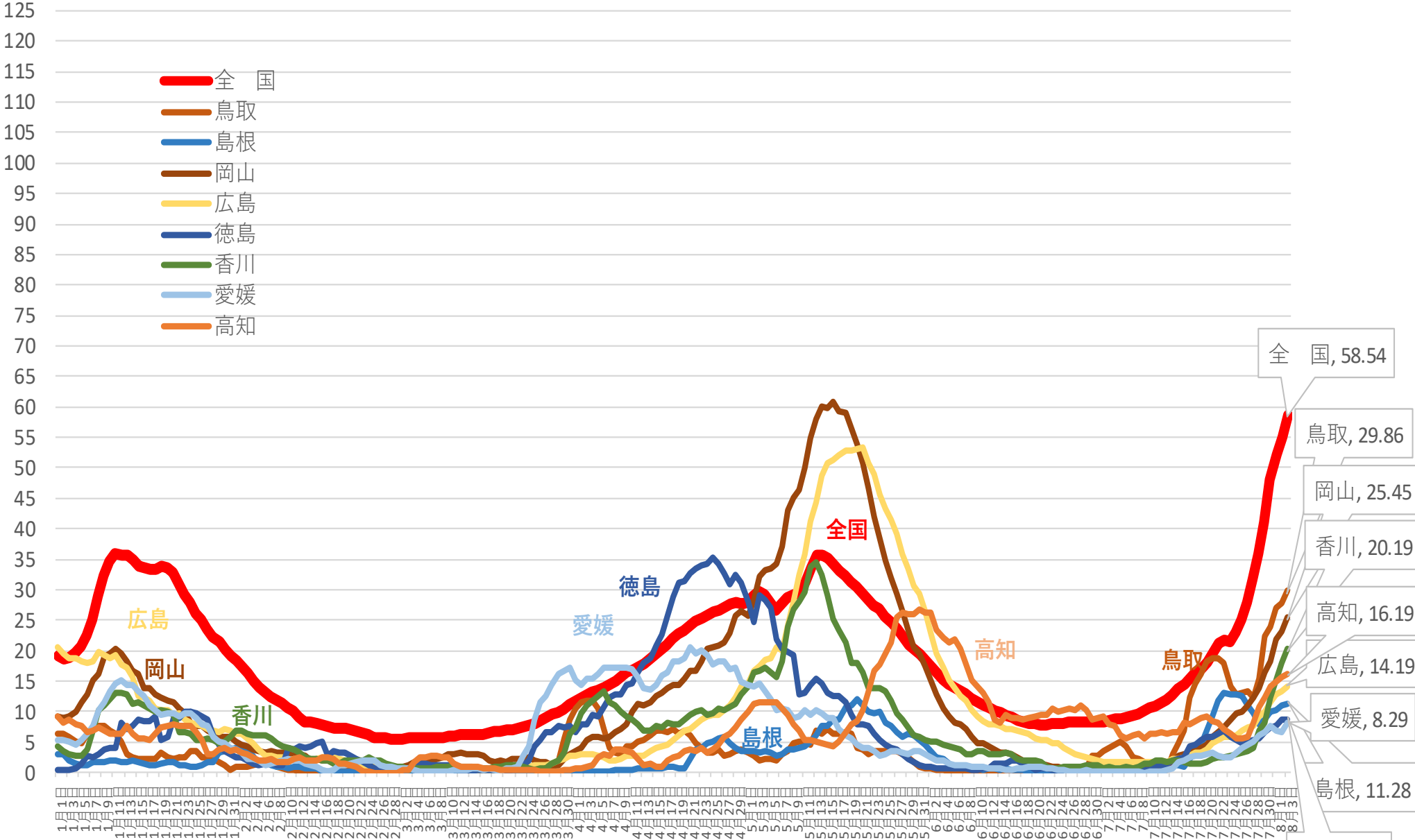


※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している



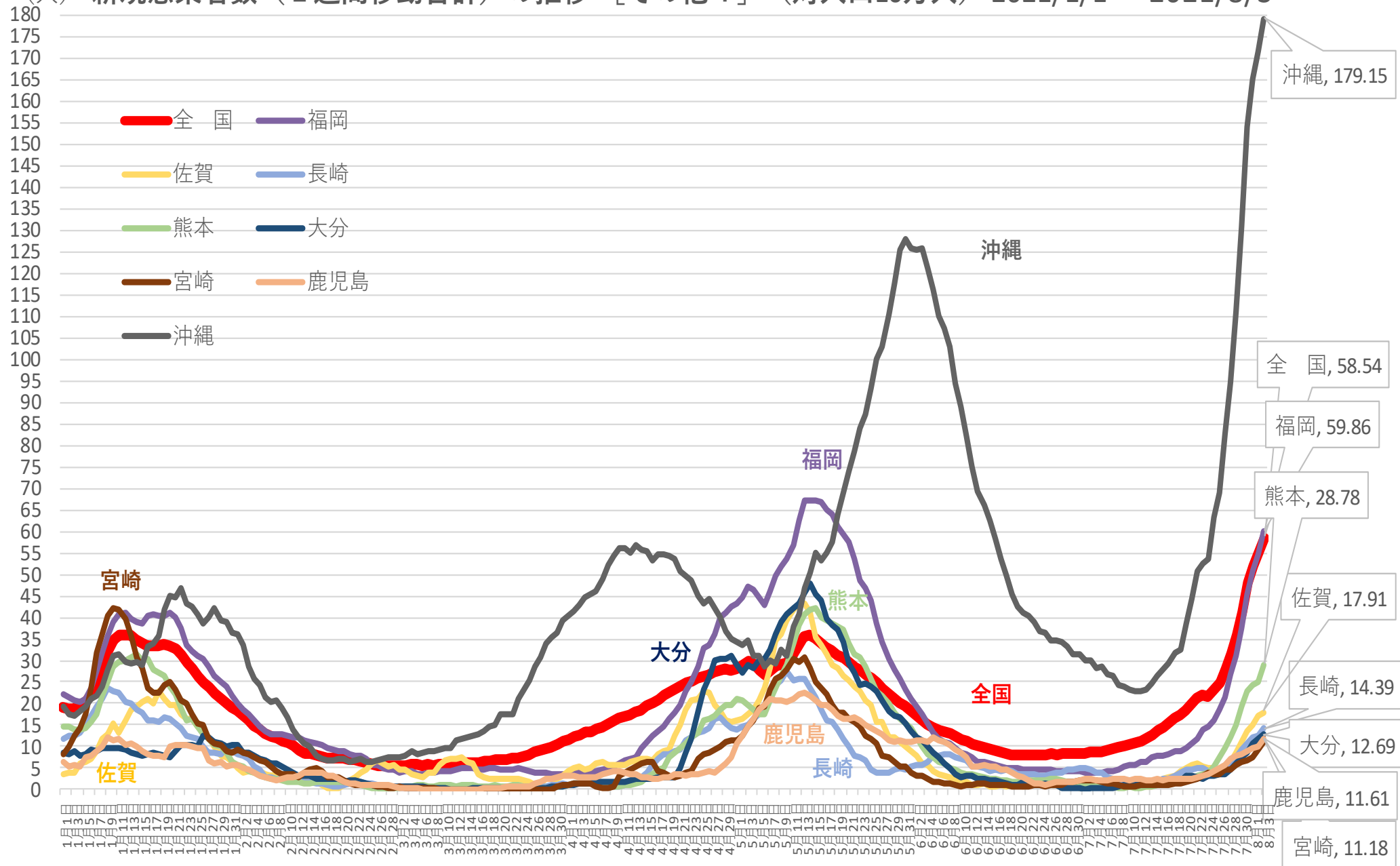
※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

(人) 新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [その他3]（対人口10万人） 2021/1/1～2021/8/3



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

(人) 新規感染者数 (1週間移動合計) の推移 [その他4] (対人口10万人) 2021/1/1 ~ 2021/8/3



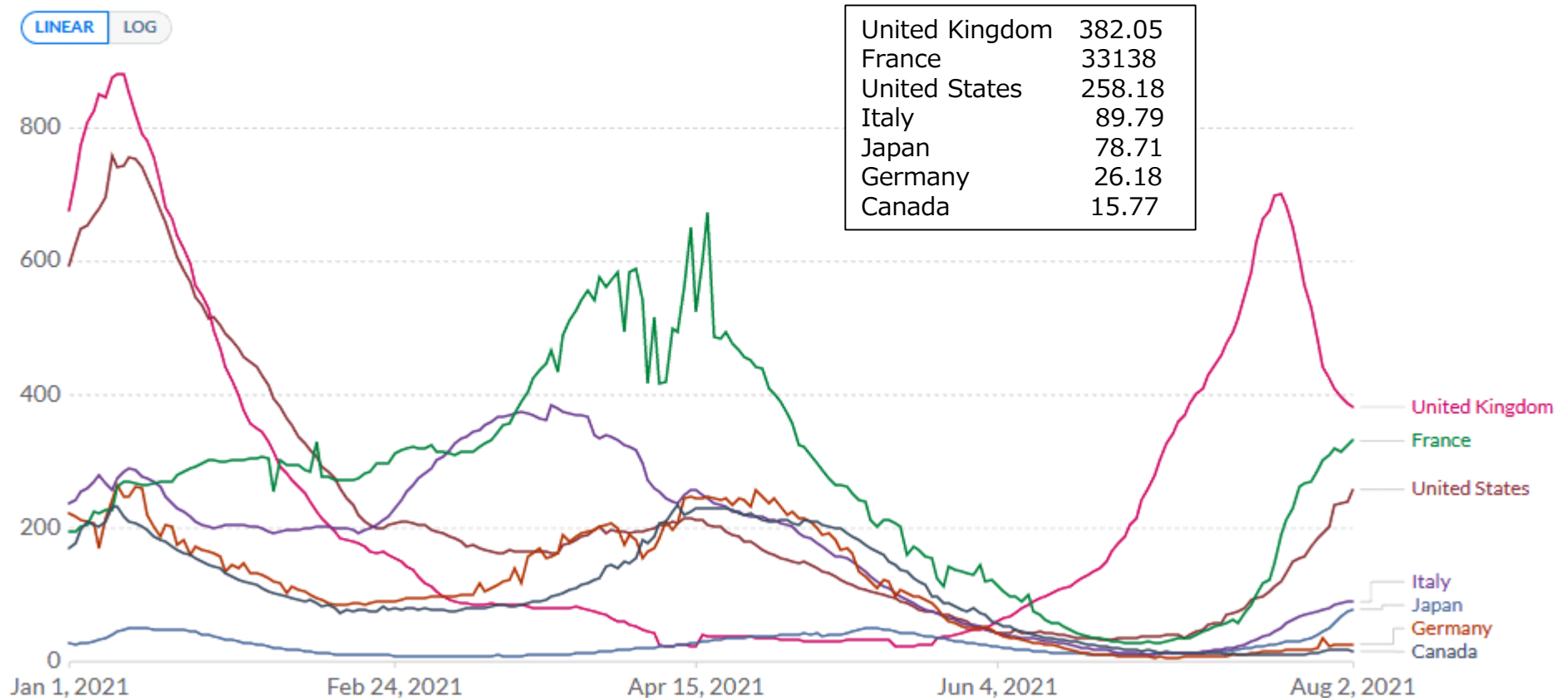
※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

各国の直近の新規感染者数 (7日間移動平均・人口100万人対)

Daily new confirmed COVID-19 cases per million people

Shown is the rolling 7-day average. The number of confirmed cases is lower than the number of actual cases; the main reason for that is limited testing.

Our World
in Data

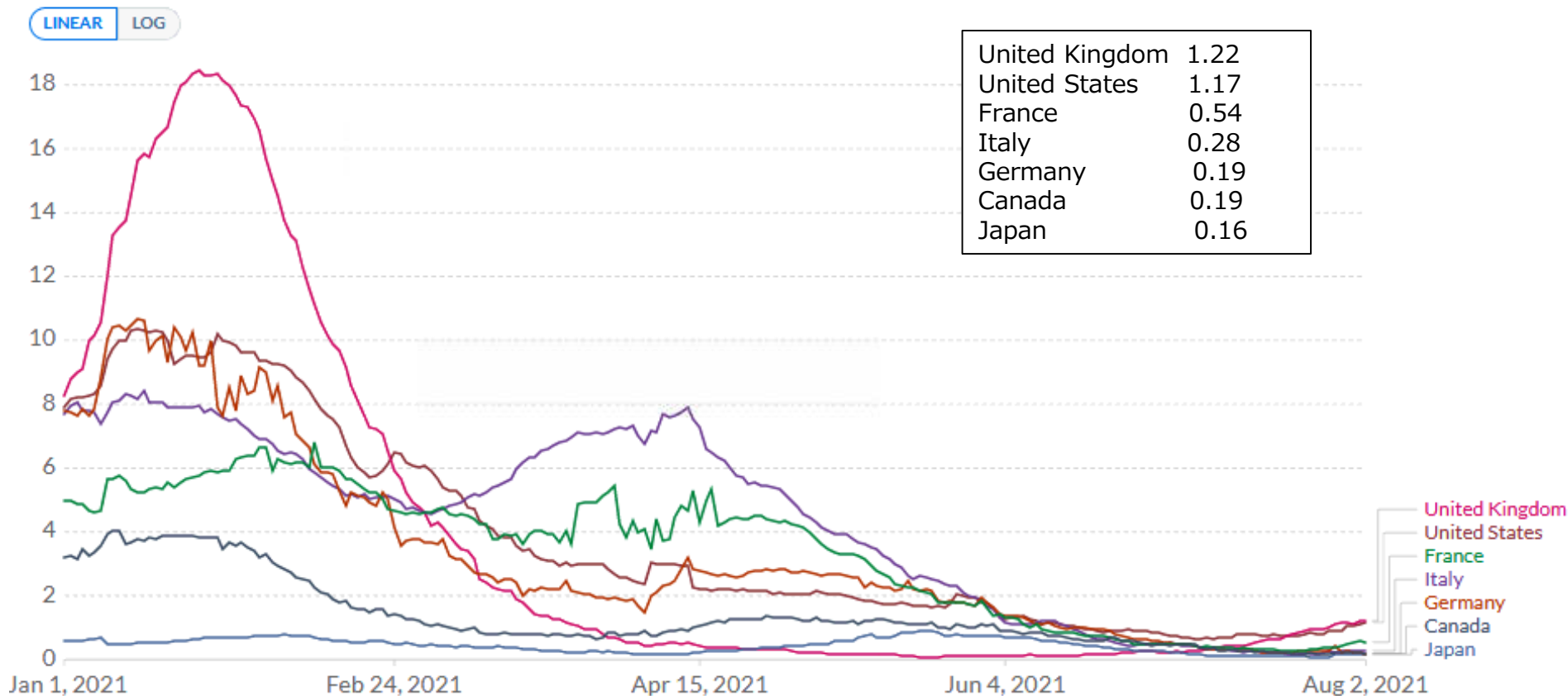


各国の直近の新規死亡者数 (7日間移動平均・人口100万人対)

Daily new confirmed COVID-19 deaths per million people

Shown is the rolling 7-day average. Limited testing and challenges in the attribution of the cause of death means that the number of confirmed deaths may not be an accurate count of the true number of deaths from COVID-19.

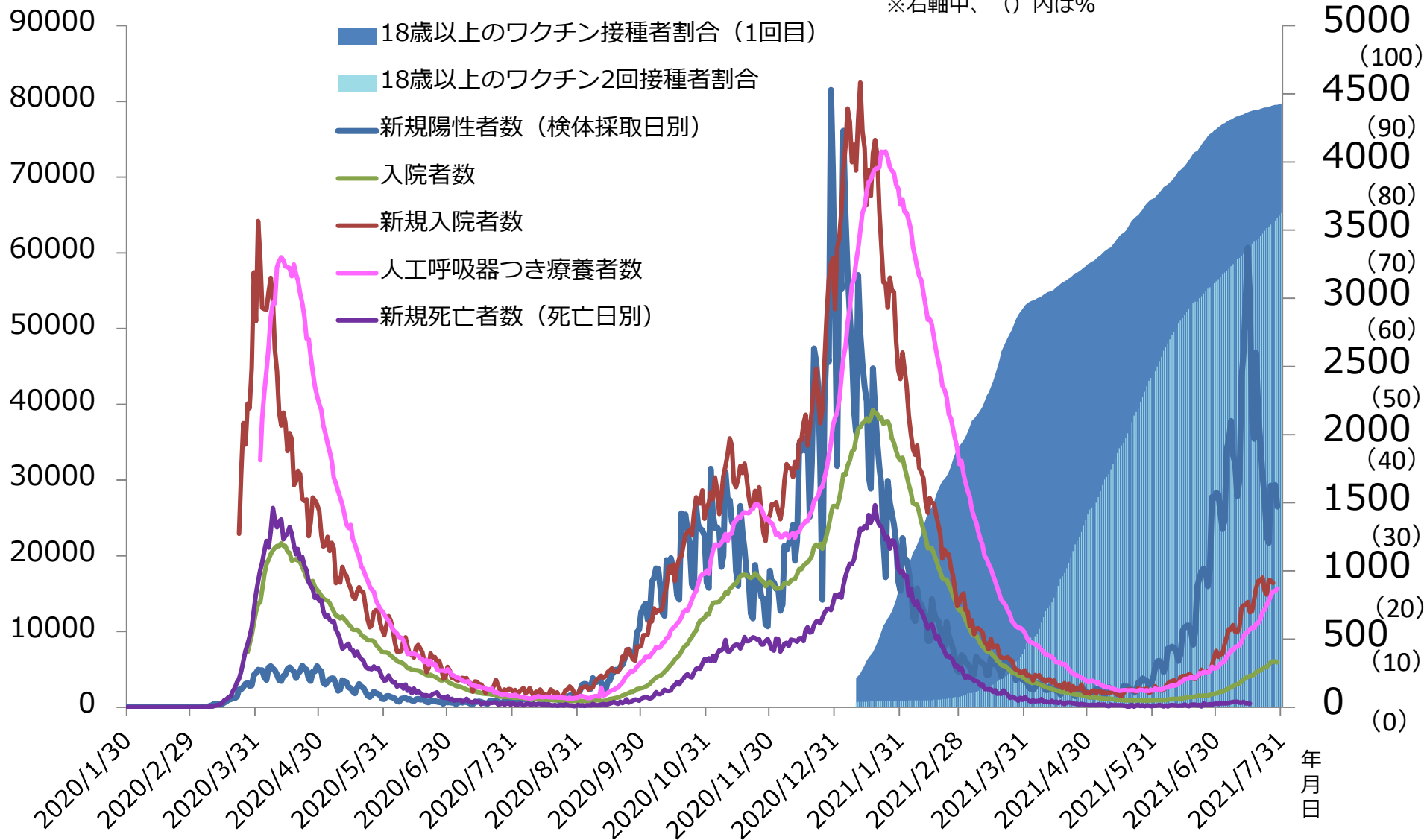
Our World
in Data



参考：【英国】新規陽性者数等とワクチン接種者数の推移

新規陽性者数、入院者数（人）

新規入院者数、人工呼吸器つき療養者数、新規死亡者数（人）
18歳以上のワクチン接種割合（%）
※右軸中、（）内は%

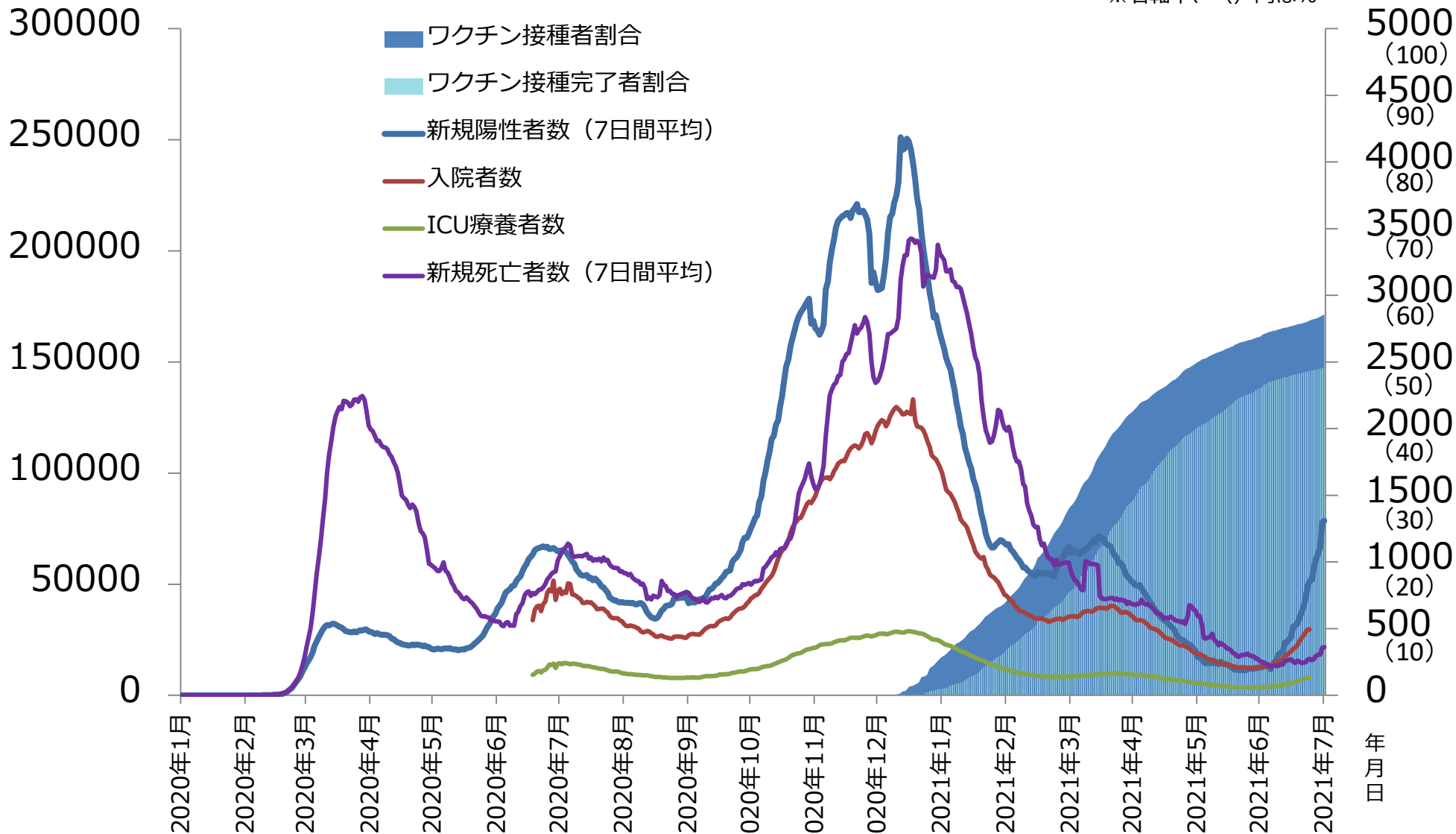


(※) 8月2日時点のGOV.UKホームページ上のデータを厚生労働省において加工。

参考：【米国】新規陽性者数等とワクチン接種者数の推移

新規陽性者数、入院者数、ICU療養者数（人）

新規死亡者数（人）
ワクチン接種割合（%）
※右軸中、（）内は%

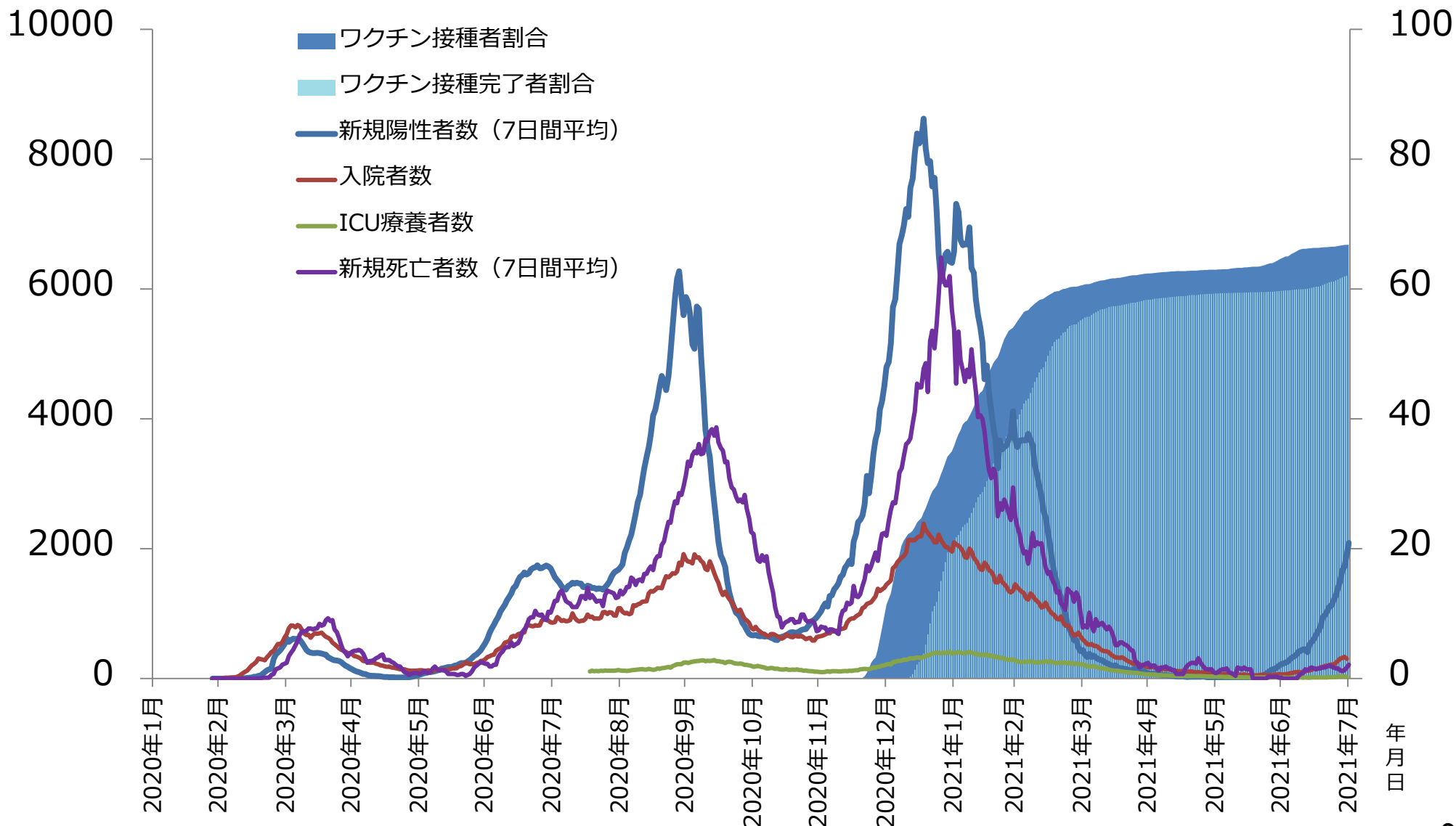


(※) 8月2日時点のour world in dataホームページ上のデータを厚生労働省において加工。

参考：【イスラエル】新規陽性者数等とワクチン接種者数の推移

新規陽性者数、新規入院者数、ICU療養者数（人）

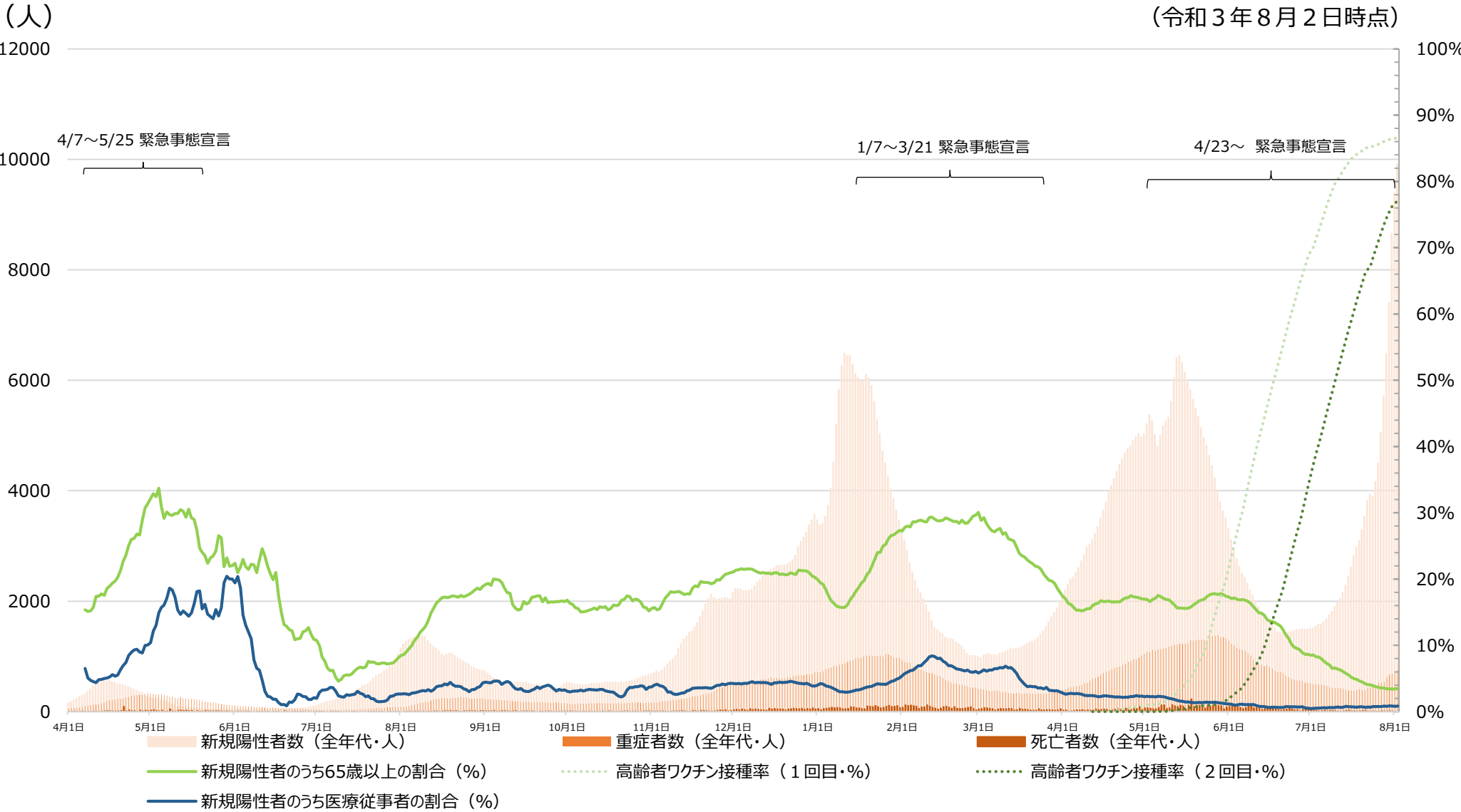
新規死亡者数（人）
ワクチン接種割合（%）



(※) 8月2日時点のour world in dataホームページ上のデータを厚生労働省において加工。

全国の新規陽性者数等及び高齢者のワクチン接種率

(令和3年8月2日時点)



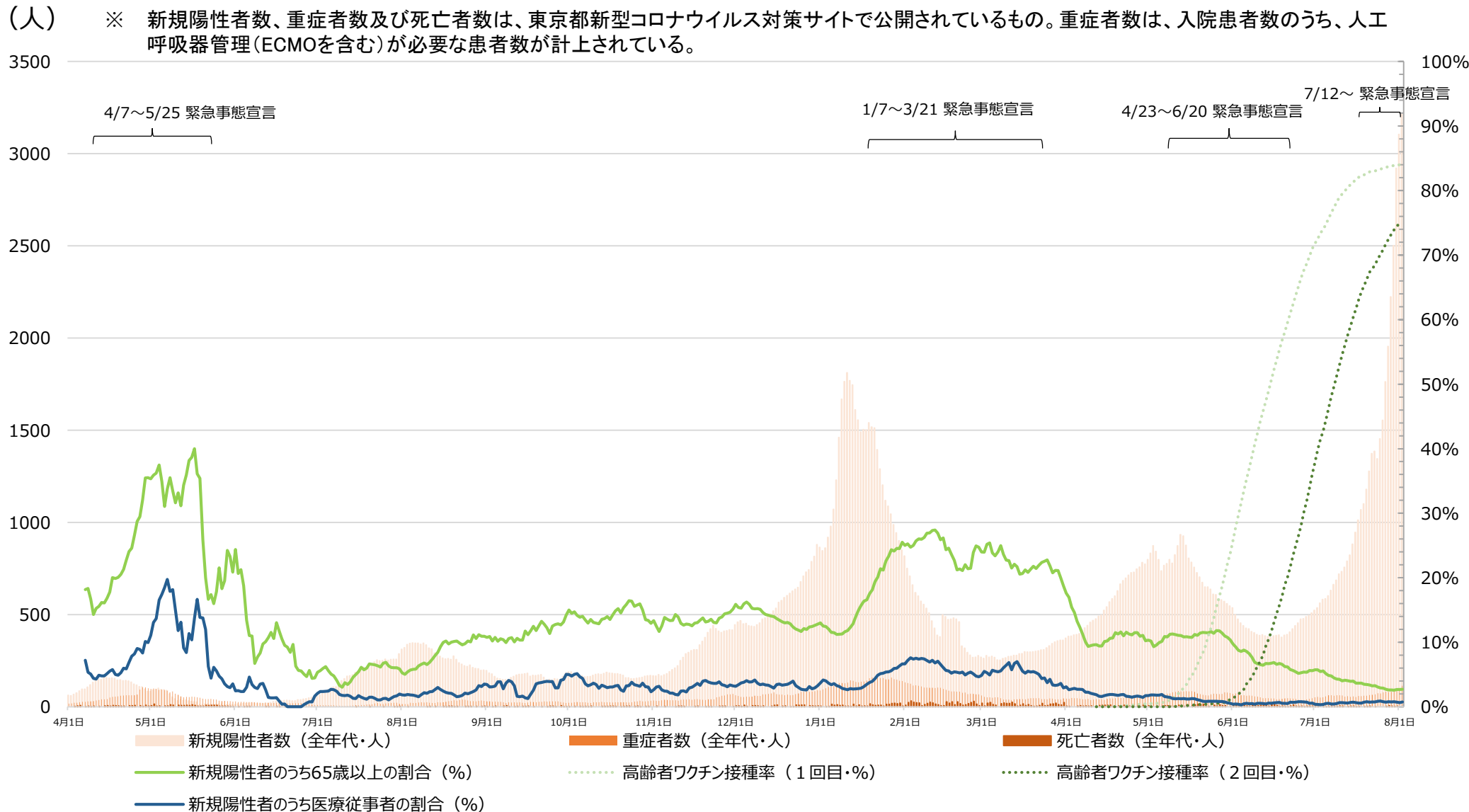
※新規陽性者数、重症者数及び死亡者数については、令和2年5月8日から（死亡者については同年4月21日から）、データソースを厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更。

※「新規陽性者数のうち65歳以上の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者のうち、65歳以上の者の割合。
 ※「新規陽性者のうち医療従事者の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者であって、職業欄に何らかの記載がある陽性者のうち、職業が「医師・歯科医師」、「看護師・准看護師」又は「医療従事者」と入力されている者の割合。
 ※新規陽性者数（全年代）、新規陽性者のうち65歳以上の割合、新規陽性者のうち医療従事者の割合は、直近7日間の移動平均の値。
 ※「高齢者ワクチン接種率」は、65歳以上に対するワクチン接種回数を65歳以上人口（出典：令和2年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別））で除したものの。

東京都の新規陽性者数等及び高齢者のワクチン接種率

(令和3年8月2日時点)

※ 新規陽性者数、重症者数及び死亡者数は、東京都新型コロナウイルス対策サイトで公開されているもの。重症者数は、入院患者数のうち、人工呼吸器管理(ECMOを含む)が必要な患者数が計上されている。



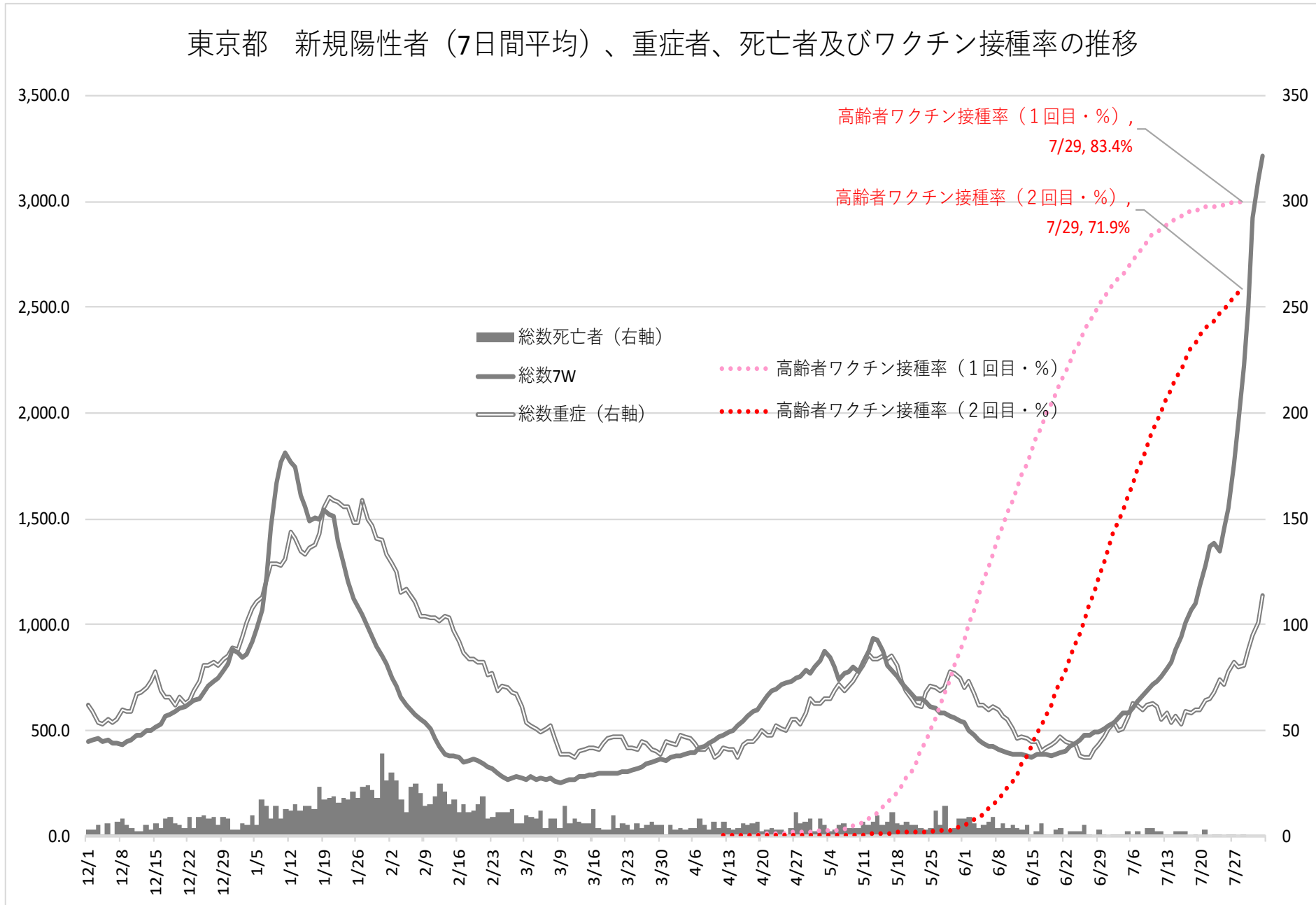
※「新規陽性者数のうち65歳以上の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者のうち、65歳以上の者の割合。

※「新規陽性者のうち医療従事者の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者であって、職業欄に何らかの記載がある陽性者のうち、職業が「医師・歯科医師」、「看護師・准看護師」又は「医療従事者」と入力されている者の割合。

※新規陽性者数(全年代)、新規陽性者のうち65歳以上の割合、新規陽性者のうち医療従事者の割合は、直近7日間の移動平均の値。

※「高齢者ワクチン接種率」は、65歳以上に対するワクチン接種回数を65歳以上人口(出典:令和2年住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別))で除したものの。

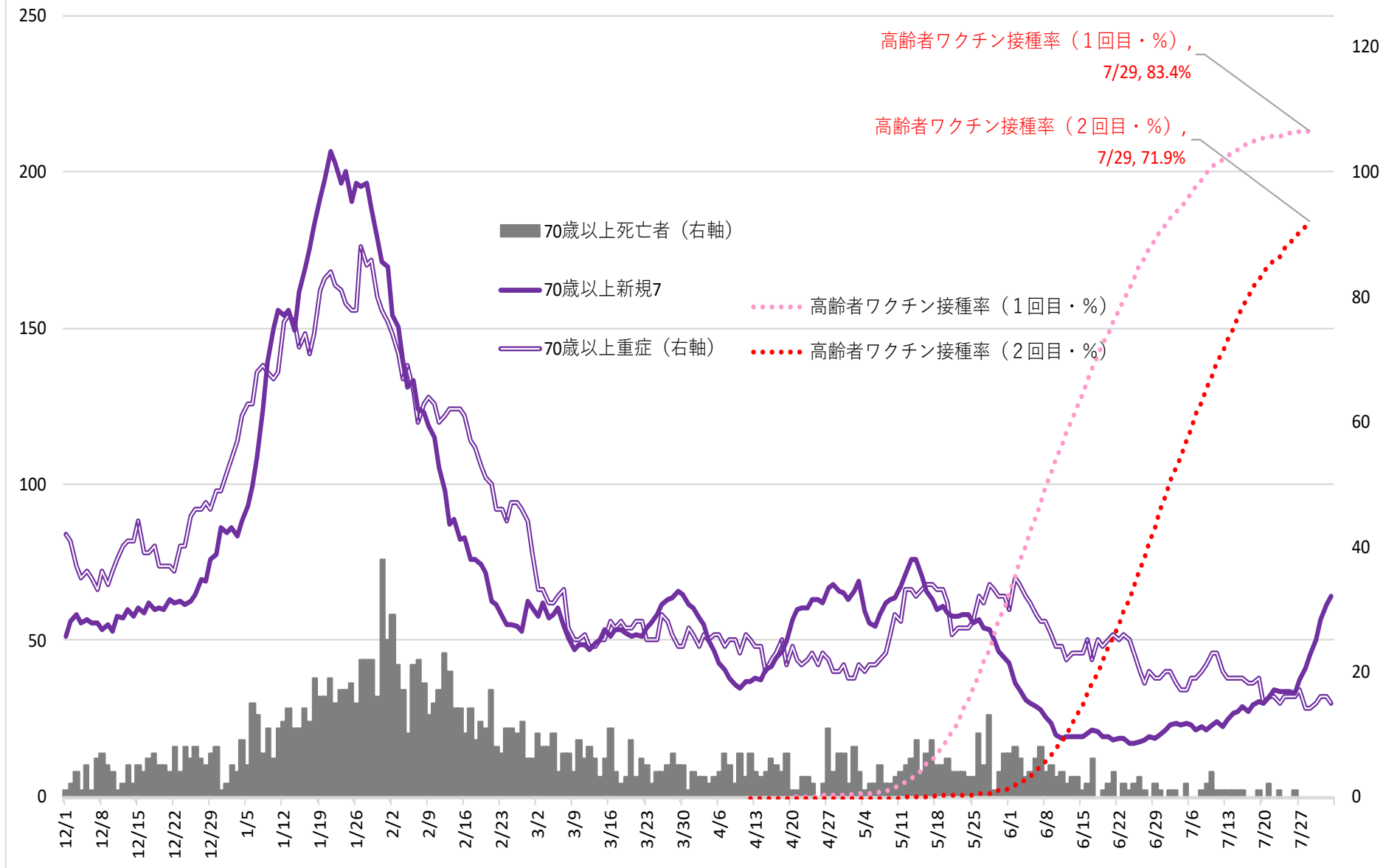
東京都 新規陽性者（7日間平均）、重症者、死亡者及びワクチン接種率の推移



注1：重症者は都の基準（人工呼吸器または人工心肺（ECMO）を使用している患者）（右軸）

注2：死亡者数は死亡日より集計しているため、公表日の死亡者数とは一致しない。（右軸）

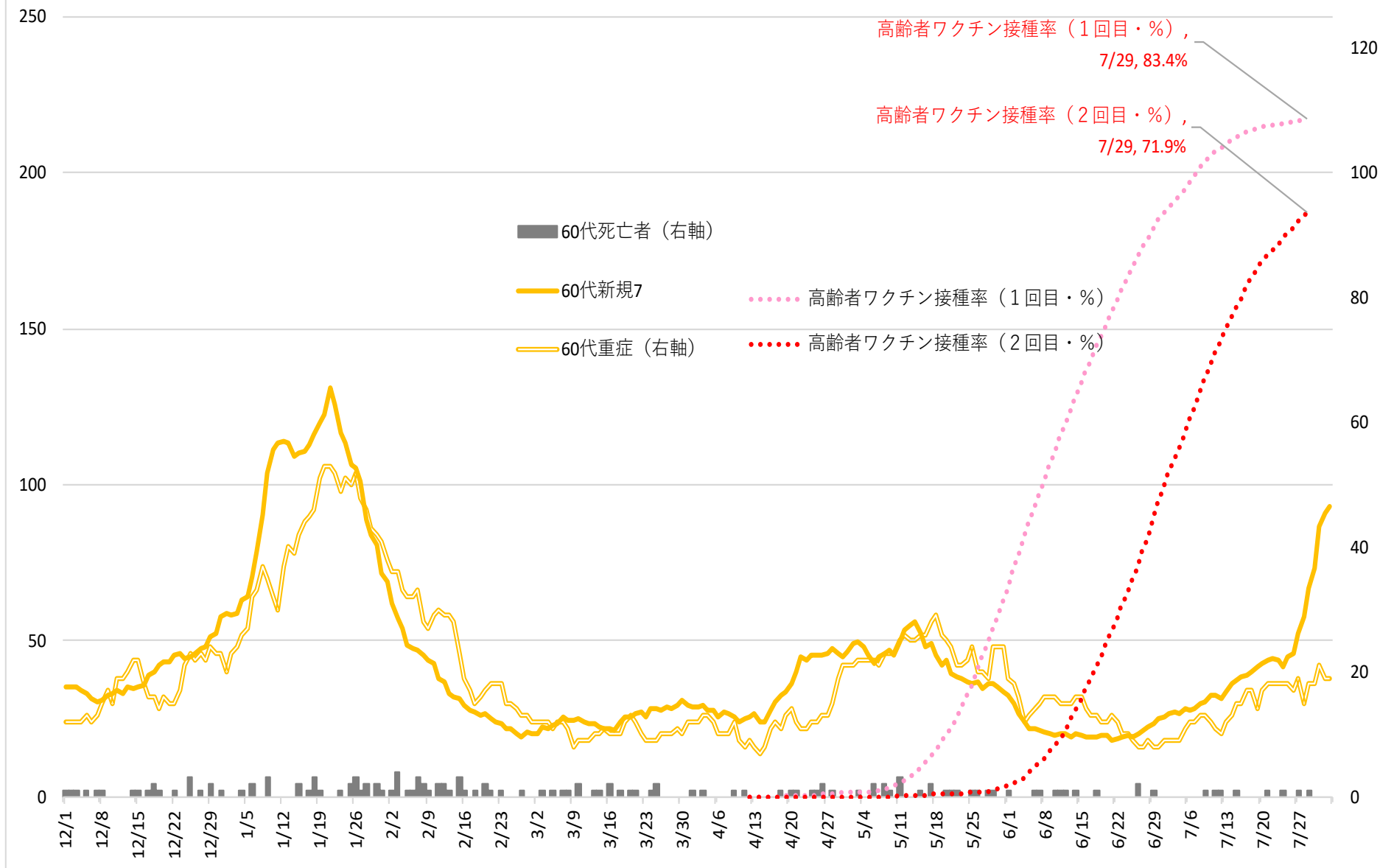
東京都 70歳以上の新規陽性者（7日間平均）、重症者、死亡者及びワクチン接種率の推移



注1：重症者は都の基準（人工呼吸器または人工心肺（ECMO）を使用している患者）（右軸）

注2：死亡者数は死亡日により集計しているため、公表日の死亡者数とは一致しない。（右軸）

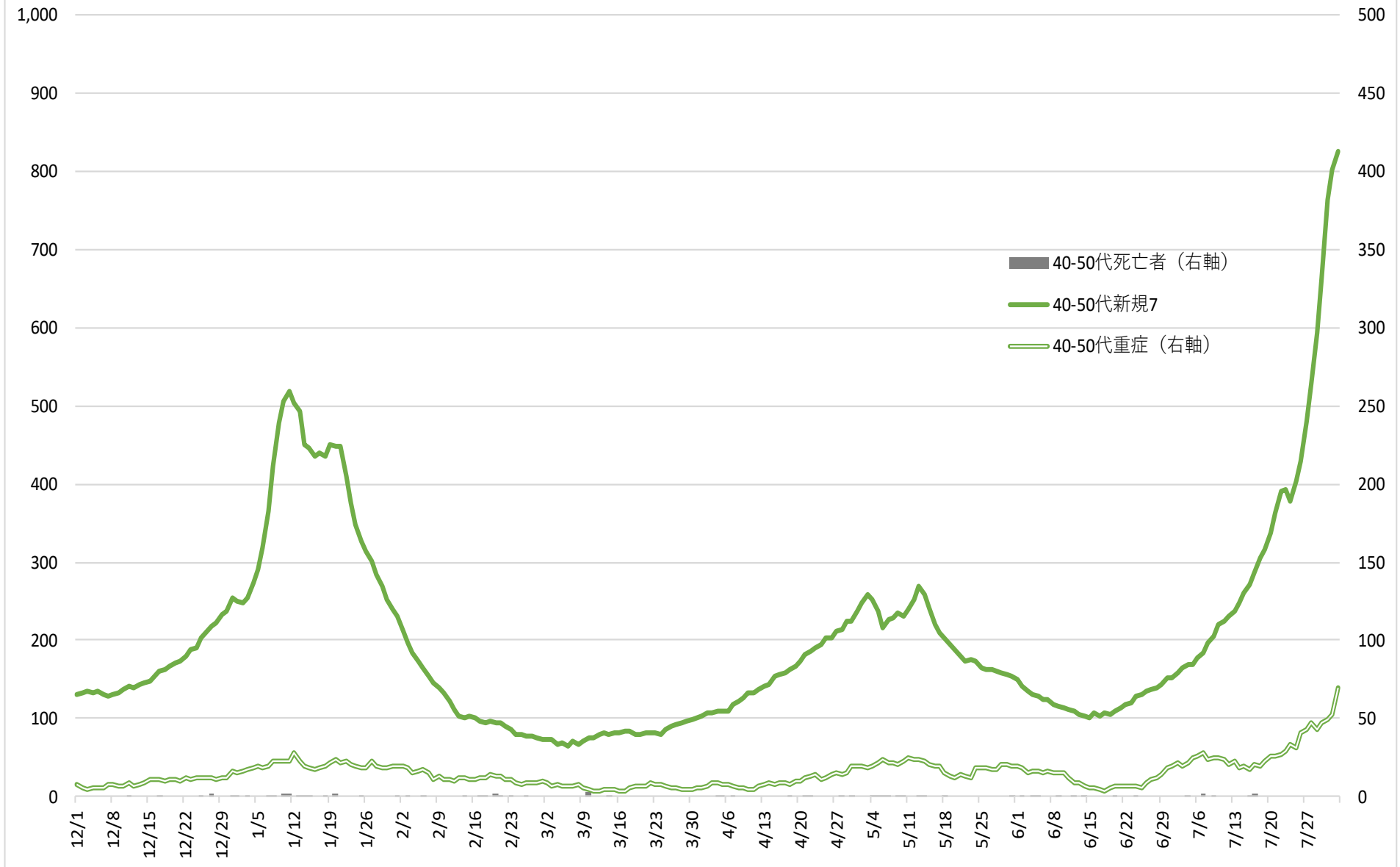
東京都 60代の新規陽性者（7日間平均）、重症者、死亡者及びワクチン接種率の推移



注1：重症者は都の基準（人工呼吸器または人工心肺（ECMO）を使用している患者）（右軸）

注2：死亡者数は死亡日より集計しているため、公表日の死亡者数とは一致しない。（右軸）

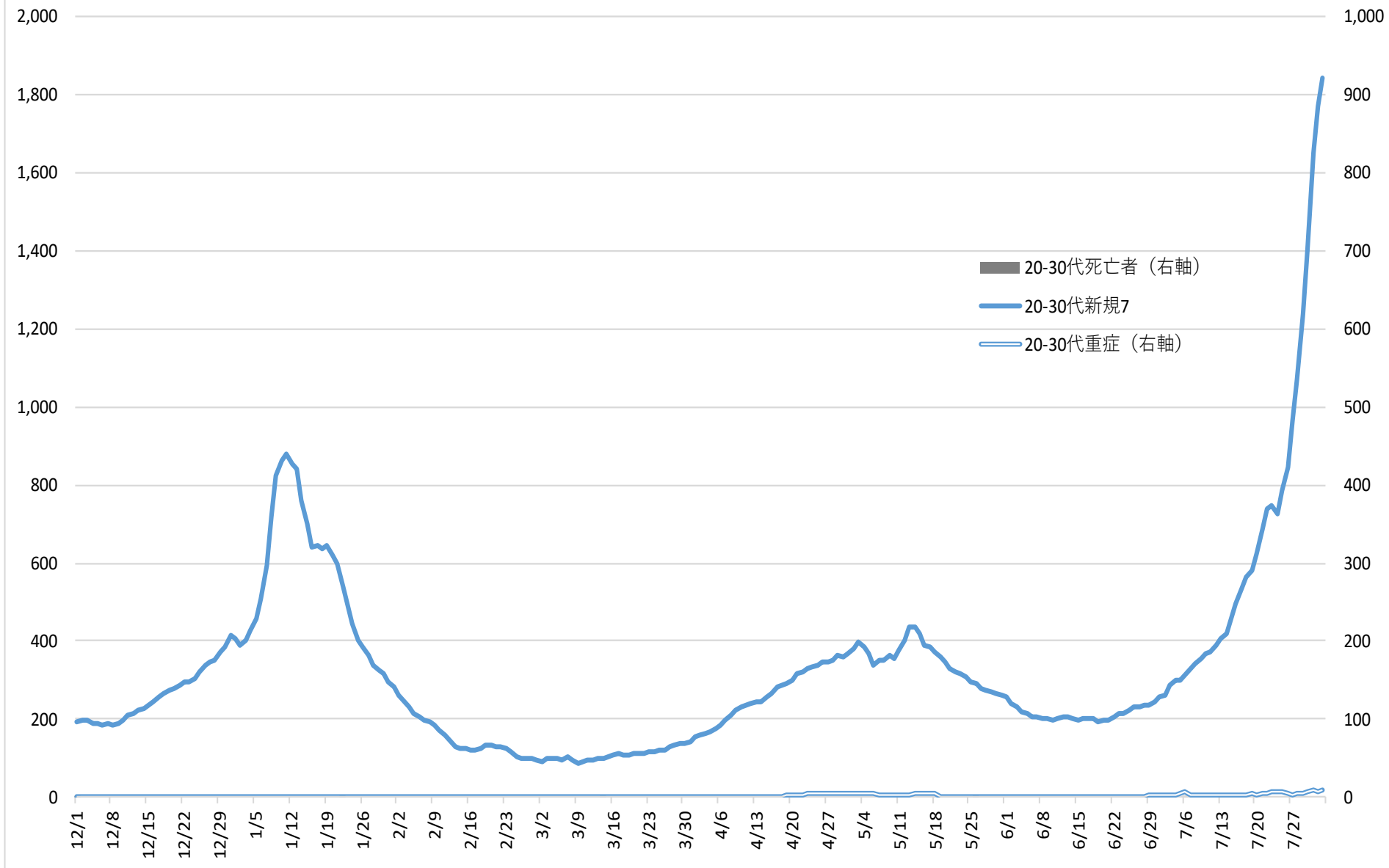
東京都 40-50代の新規陽性者（7日間平均）、重症者、死亡者の推移



注1：重症者は都の基準（人工呼吸器または人工心肺（ECMO）を使用している患者）

注2：死亡者数は死亡日により集計しているため、公表日の死亡者数とは一致しない

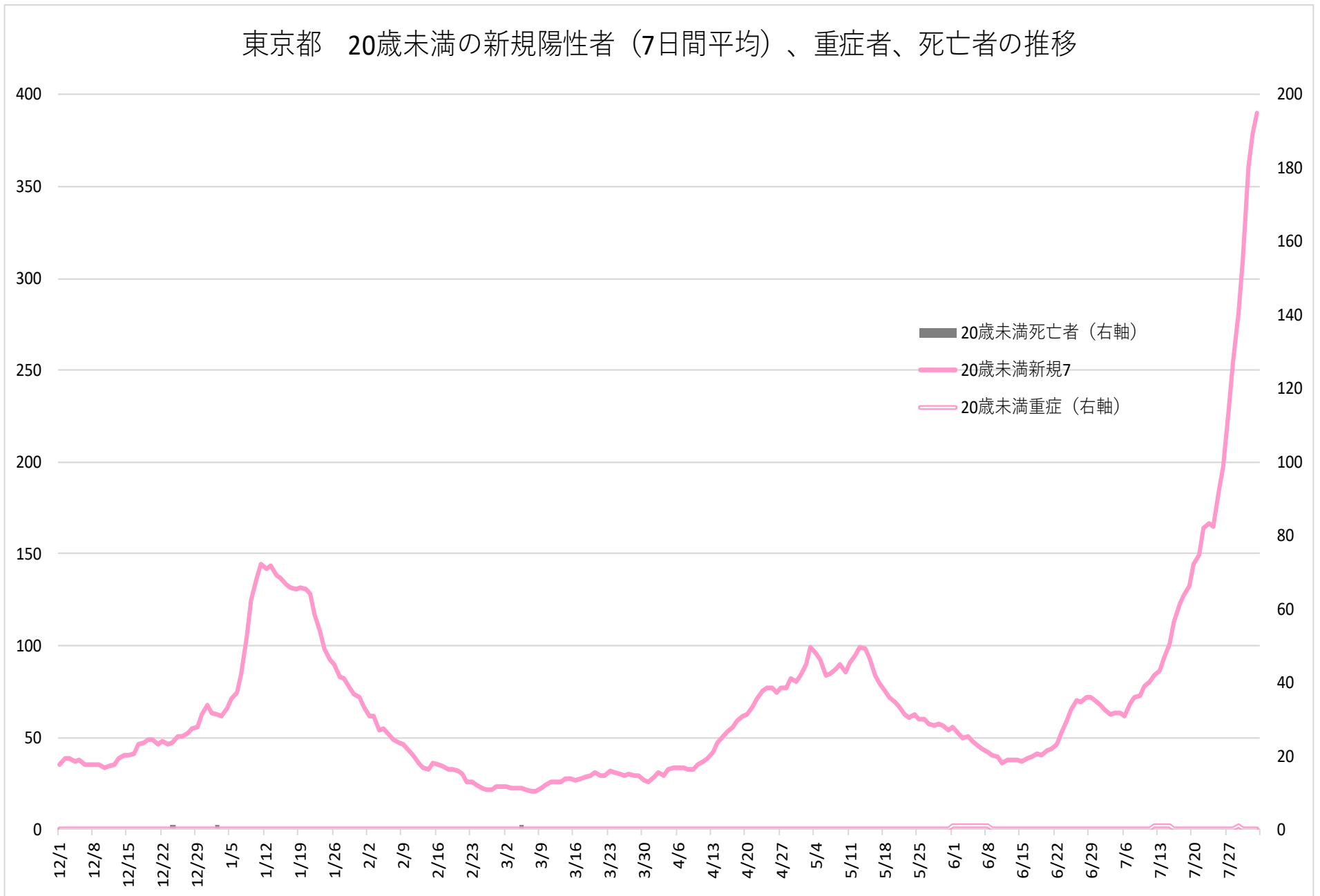
東京都 20-30代の新規陽性者（7日間平均）、重症者、死亡者の推移



注1：重症者は都の基準（人工呼吸器または人工心肺（ECMO）を使用している患者）

注2：死亡者数は死亡日により集計しているため、公表日の死亡者数とは一致しない

東京都 20歳未満の新規陽性者（7日間平均）、重症者、死亡者の推移



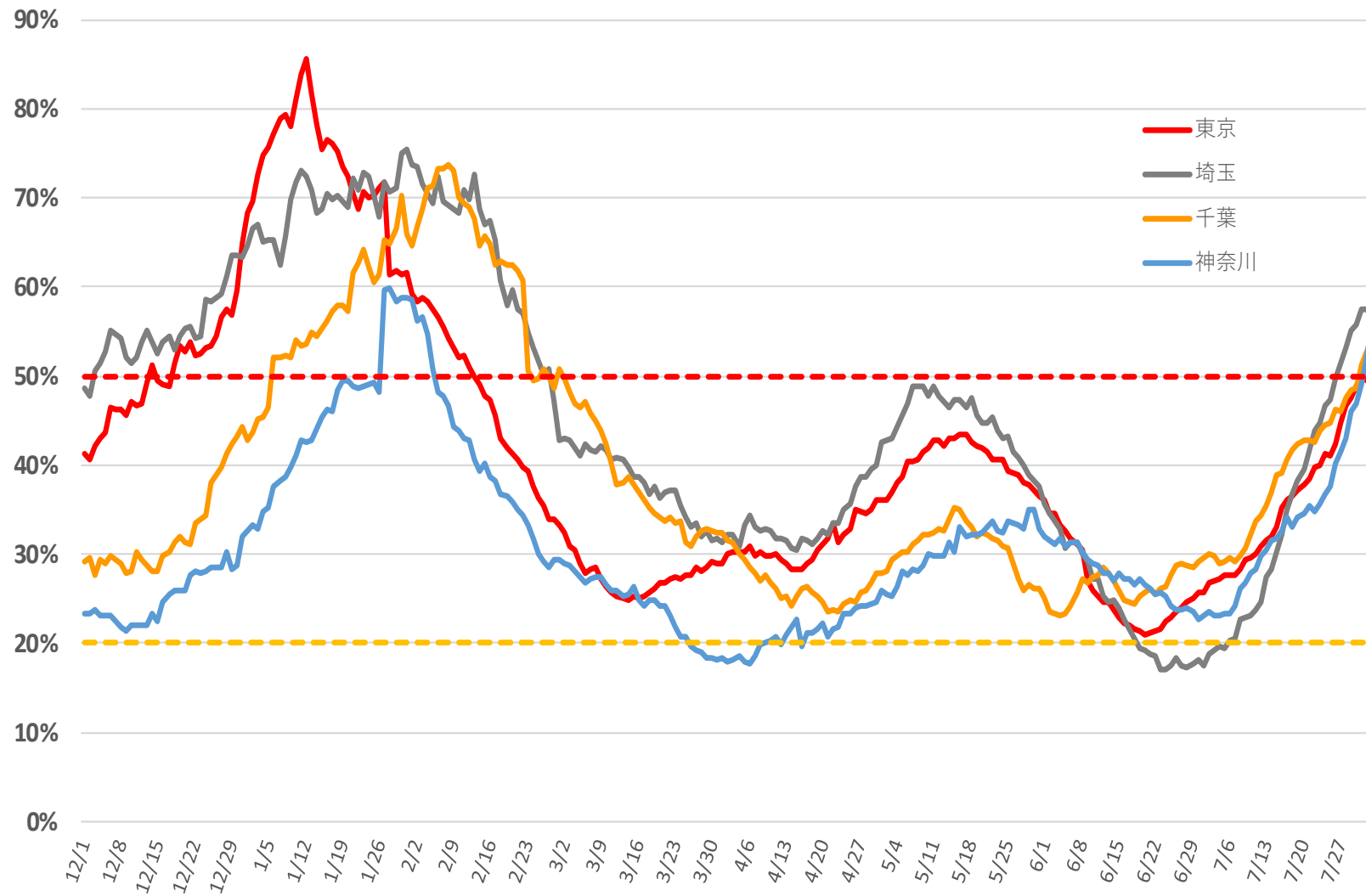
注1：重症者は都の基準（人工呼吸器または人工心肺（ECMO）を使用している患者）

注2：死亡者数は死亡日より集計しているため、公表日の死亡者数とは一致しない

1都3県の確保病床使用率推移（12月以降）

8月2日時点

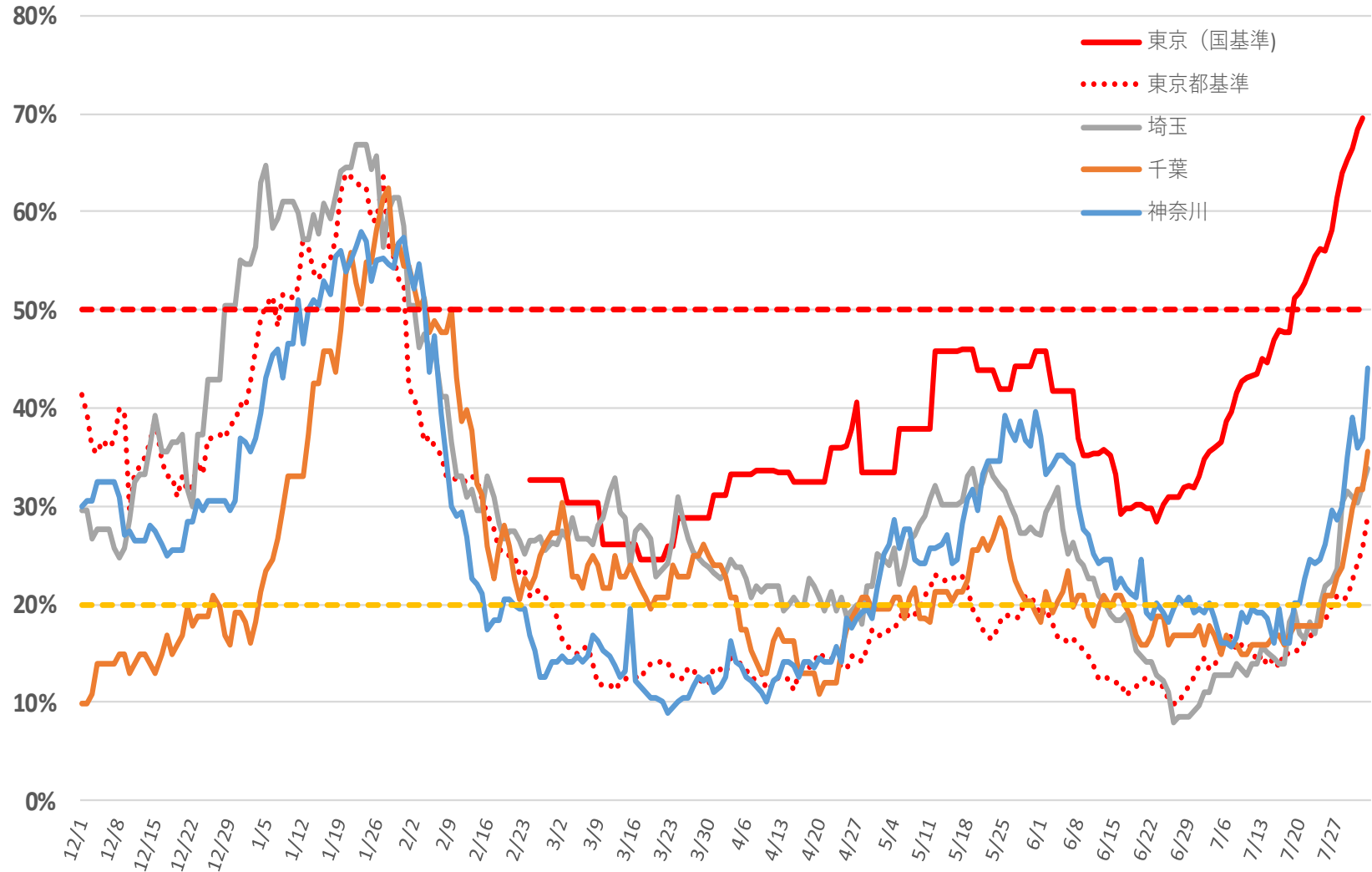
確保病床使用率



1都3県の確保病床使用率推移（12月以降）

8月2日時点

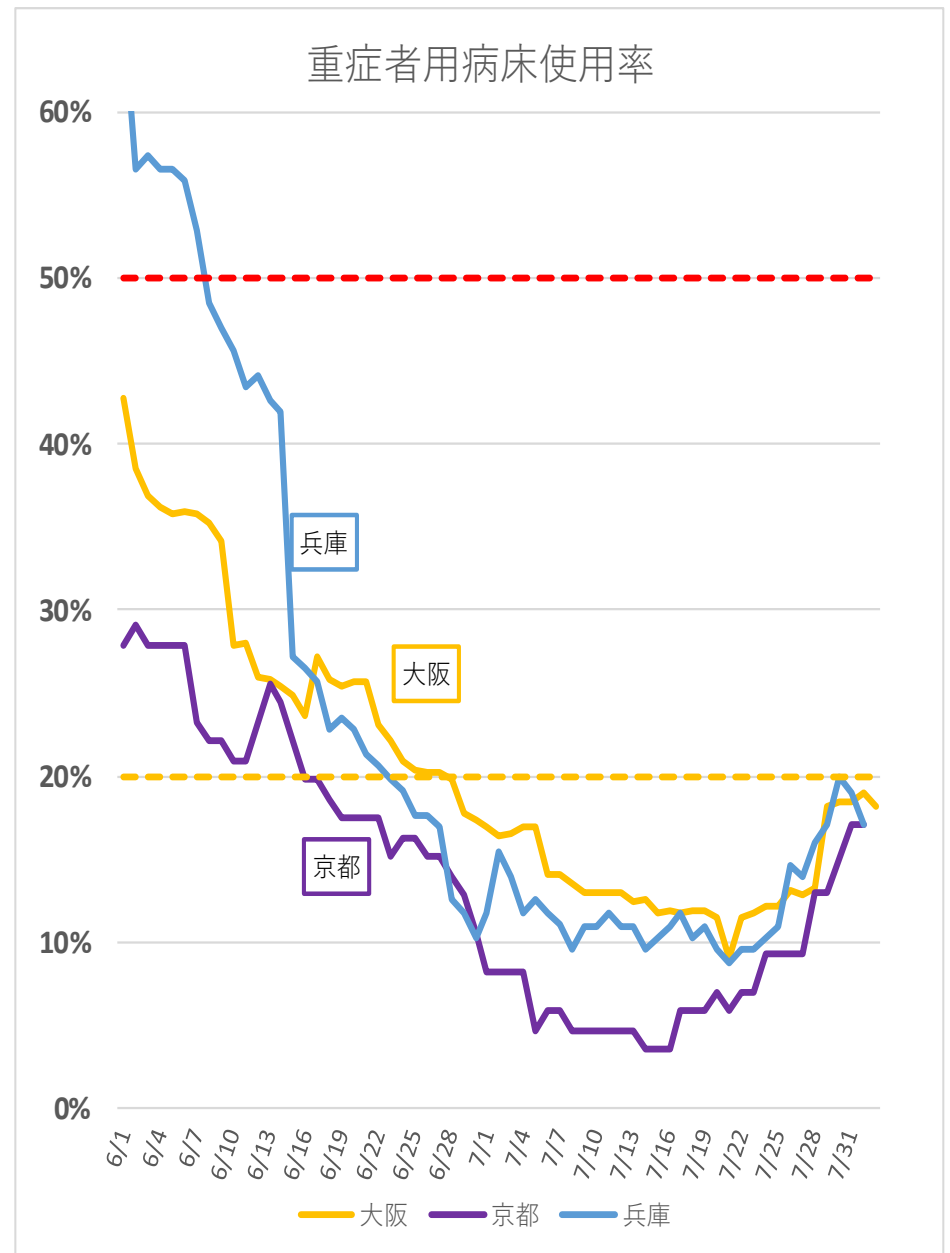
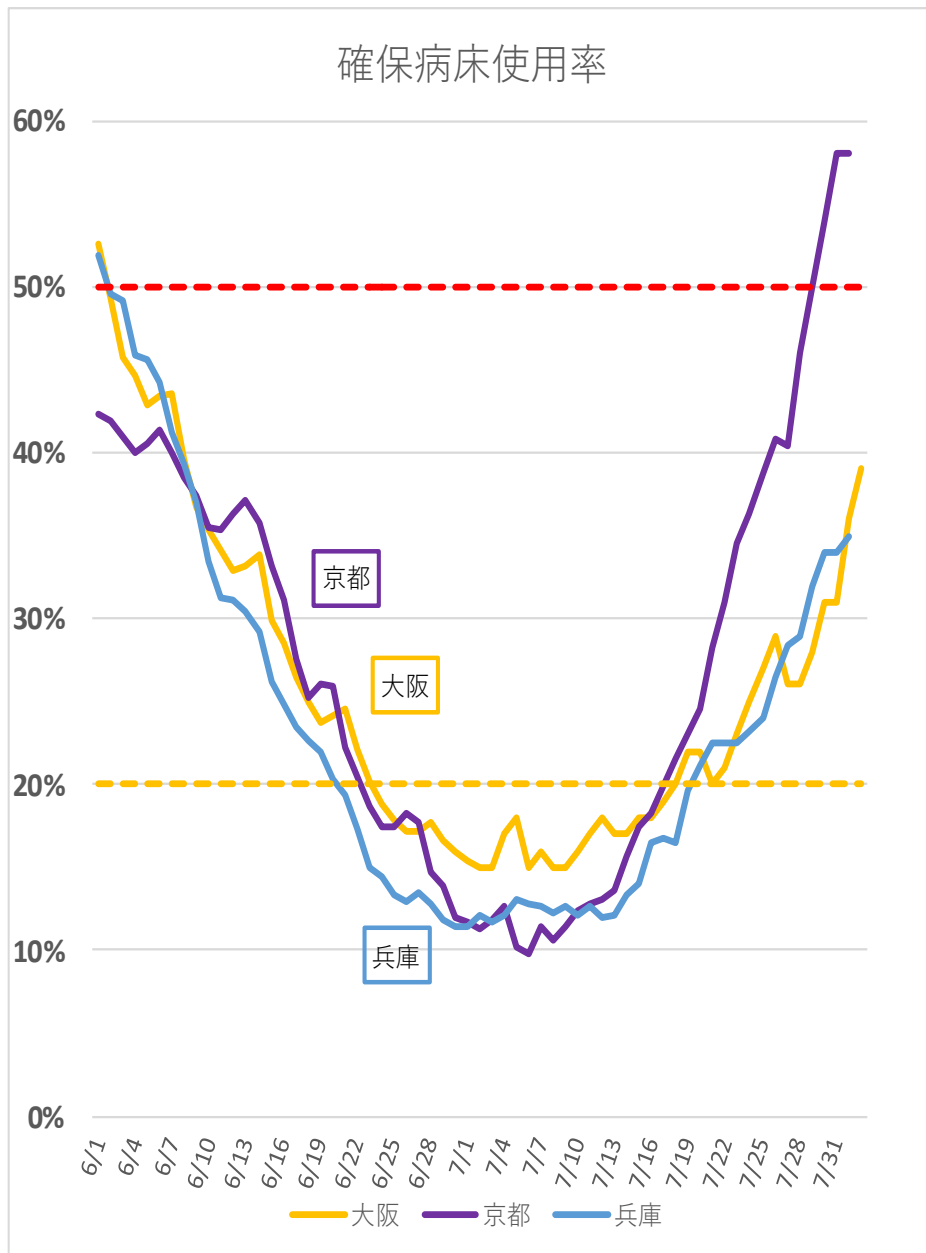
重症者用病床使用率



注1：国基準の重症者は、集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者。
 注2：東京都基準の重症者は、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者。
 注3：東京（国基準）の病床使用率については、分子分母ともに国基準の値で報告されることとなった2/24以降を表示。

2府1県の確保病床使用率推移（6月以降）

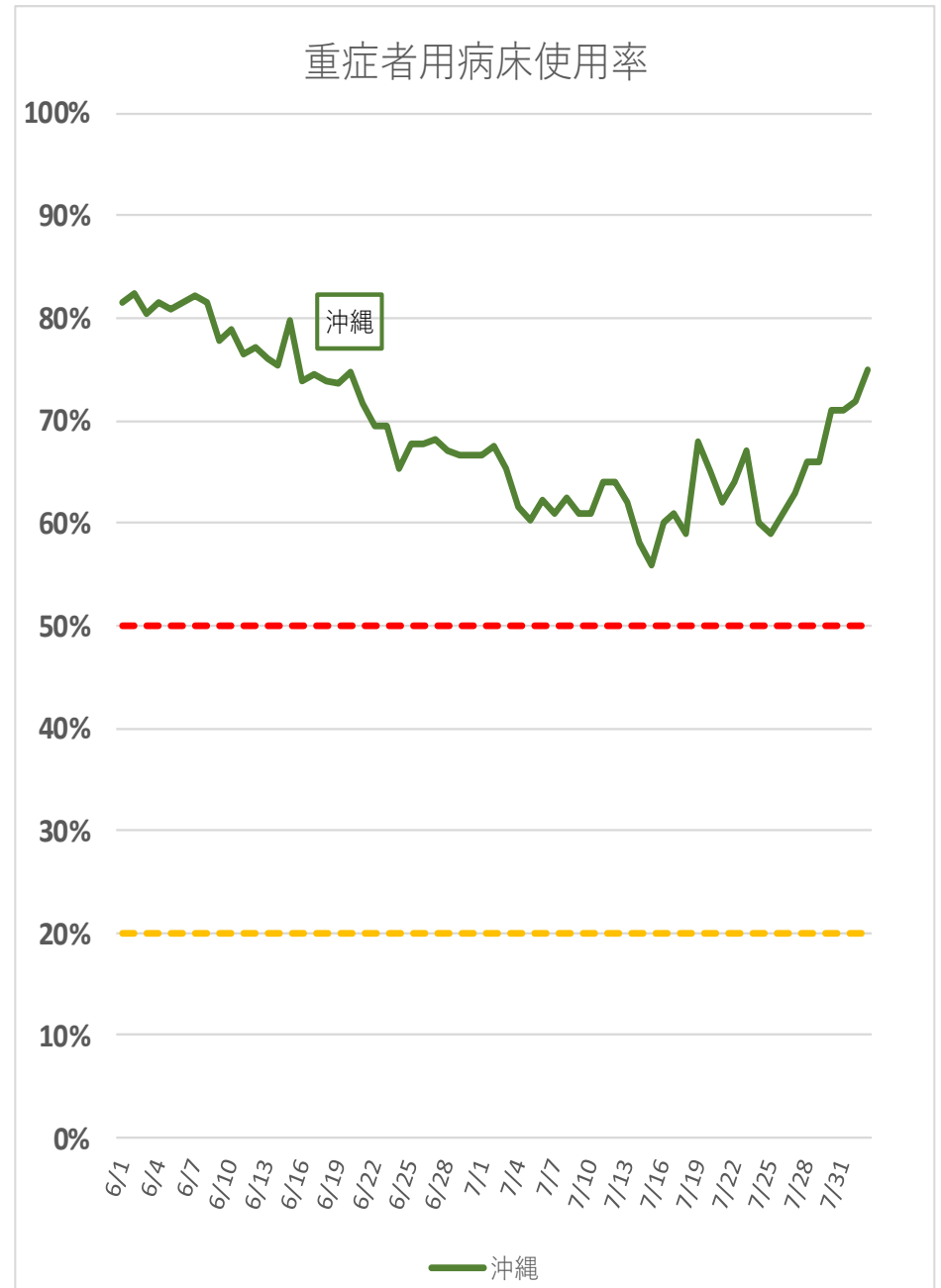
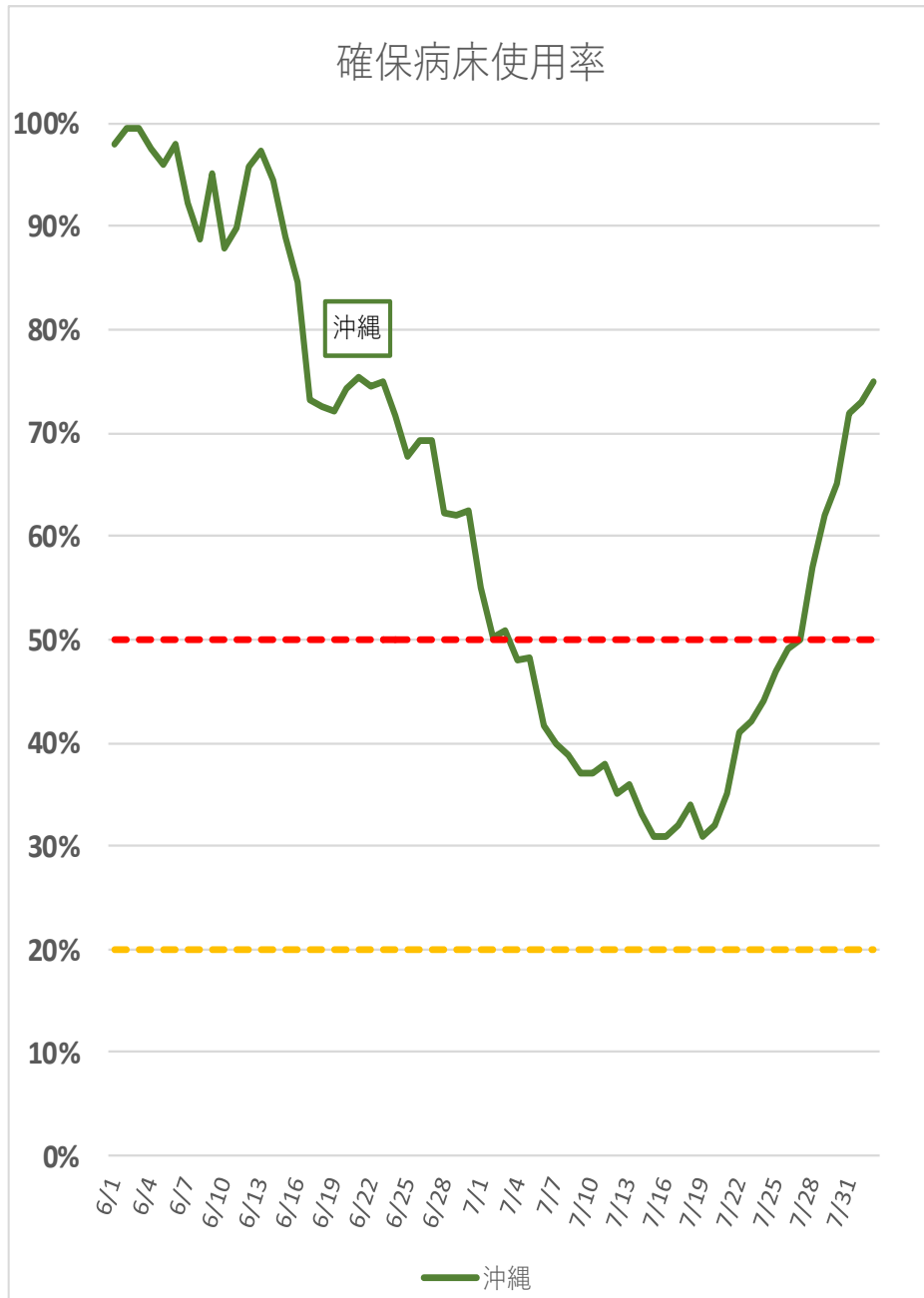
8月2日時点



※重症者及び重症者用病床は国基準の値

沖縄県の確保病床使用率推移（6月以降）

8月2日時点



現下の感染拡大を踏まえた患者療養の考え方について

- ワクチン接種の進展に伴う患者像の変化等の中で、患者が急増している地域における対応として、患者療養について以下の考え方を可能とする。

これまで

入院

- 重症化リスクの高い者を中心に幅広く、原則入院で対応

宿泊

- 無症状・軽症患者は原則として宿泊療養施設で療養・健康管理

自宅

- 無症状・軽症患者のうち、やむを得ず宿泊療養を行えない者を自宅療養で対応

今後の対応

- 入院は重症患者や特に重症化リスクの高い者に重点化
- 自宅・宿泊療養者の症状悪化に備え、空床を確保

- 入院患者以外は自宅療養を基本とし、家庭内感染のおそれや自宅療養ができない事情等がある場合に宿泊療養を活用
- 健康管理体制を強化した宿泊療養施設を増強
(宿泊療養者への往診・オンライン診療等の医療支援体制の確保※など)
- 自宅療養者への健康観察を更に強化し、症状悪化の際は速やかに入院できる体制を確保
(パルスオキシメーターの配布や自宅療養者への往診・オンライン診療等の医療支援体制の確保※、入院への移行時の搬送手段の整備)

※ 自宅・宿泊療養者に対する往診等の診療報酬上の特例的な評価の拡充
(自宅・宿泊療養者に往診・訪問診療を実施した場合に、1日当たり1回、救急医療管理加算950点を加算(7/30~))

- HER-SYSを改善し導入した、スマホでの健康管理・IVR(自動音声応答システム)を活用した自動電話等の機能を活用した健康管理の推進

* 7/1より家族全員の健康管理をスマホで入力可能とする等の機能を追加。

- 重症化を防ぐことが医療提供体制を守る観点から重要。政府が確保した中和抗体薬について、医療現場で重症化リスクのある方に活用するモデル的な取組を実施。

都道府県のステージ判断のための指標(8月3日時点)									
	医療提供体制等の負荷				感染の状況			今週/ 先週比	
	①医療のひっ迫具合				②療養者数 (人口10万人 あたり)	③PCR 陽性率 (最近1週間)	④新規陽性者数 (最近1週間) (10万人当たり)		⑤感染経路 不明割合
	入院医療		重症者用病床 確保病床 使用率						
	確保病床 使用率	入院率							
ステージⅢ	20%以上	40%以下	20%以上	20以上	5%以上	15以上	50%以上	-	
ステージⅣ	50%以上	25%以下	50%以上	30以上	10%以上	25以上	50%以上	-	
東京	52% ↑	12% ↓	72% →	198 ↑	20.1% ↑	168 ↑	65% ↓	1.89 ↓	
埼玉	59% ↑	10% ↓	34% →	131 ↑	12.5% ↓	86 ↑	55% ↓	2.03 ↓	
千葉	56% ↑	13% ↓	41% ↑	89 ↑	13.1% ↑	80 ↑	71% ↑	2.04 ↓	
神奈川	58% ↑	12% ↓	51% ↑	97 ↑	22.0% ↑	103 ↑	64% ↓	2.26 ↓	
大阪	40% ↑	16% ↓	18% ↑	86 ↑	6.9% ↑	69 ↑	65% ↓	1.90 ↓	
沖縄	75% ↑	17% ↓	86% ↓	214 ↑	12.2% ↓	179 ↑	58% ↑	2.17 ↓	
北海道	27% ↑	26% ↑	4% ↑	40 ↑	7.1% ↑	33 ↑	51% ↓	2.04 ↑	
札幌市	38% ↑	17% ↑	9% ↑	67 ↑	-	56 ↑	-	1.92 ↑	
石川	86% ↑	27% ↑	16% ↑	76 ↑	16.0% ↑	56 ↑	52% ↑	1.47 ↓	
京都	58% ↓	24% ↓	33% ↑	47 ↑	12.7% ↑	46 ↑	58% ↑	2.41 ↓	
兵庫	38% ↑	23% ↑	11% ↓	36 ↑	11.9% ↑	38 ↑	60% ↓	2.35 ↓	
福岡	29% ↑	13% ↑	6% ↓	63 ↑	9.9% ↑	60 ↑	61% ↓	2.79 ↓	
福岡市	-	8% ↑	-	118 ↑	15.5% ↑	110 ↑	65% ↑	2.79 ↓	
愛知	20% ↑	17% ↑	8% ↑	26 ↑	3.8% ↑	22 ↑	54% ↓	2.24 ↓	
名古屋市	21% ↑	12% ↓	9% →	39 ↑	7.4% ↓	31 ↑	-	2.16 ↓	
全国	29%	-	15%	68	12.8%	59	-	2.09	

都道府県のステージ判断のための指標(8月3日時点)

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			今週/先週比	
	①医療のひっ迫具合				②療養者数 (人口10万人 あたり)	③PCR 陽性率 (最近1週間)	④直近1週間の 陽性者数 (10万人当 たり)		⑤感染経路 不明割合
	入院医療		重症者用病床	確保病床 使用率					
	確保病床 使用率	入院率	確保病床 使用率						
ステージⅢ	20%以上	40%以下	20%以上	20以上	5%以上	15以上	50%以上	-	
ステージⅣ	50%以上	25%以下	50%以上	30以上	10%以上	25以上	50%以上	-	
宮城	28%	26%	7%	17	8.7%	15	42%	2.58	
福島	76%	52%	20%	39	5.4%	33	37%	2.81	
茨城	48%	20%	11%	50	11.0%	46	45%	2.62	
栃木	45%	21%	33%	50	11.0%	42	51%	2.32	
群馬	43%	27%	7%	39	11.7%	36	49%	3.33	
静岡	32%	16%	5%	33	5.6%	23	34%	1.77	
岐阜	15%	50%	2%	12	3.9%	10	60%	2.22	
三重	37%	45%	10%	20	3.5%	16	18%	2.29	
滋賀	48%	42%	6%	30	6.2%	26	41%	2.85	
奈良	43%	38%	29%	38	8.2%	31	50%	2.25	
岡山	24%	23%	5%	26	7.1%	25	51%	2.29	
広島	16%	31%	9%	16	2.0%	14	-	1.89	
熊本	32%	36%	0%	31	7.1%	29	34%	3.01	
全国	29%	-	15%	68	12.8%	59	-	2.09	

都道府県別 新型コロナウイルス感染症による死亡者数

	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7日間合計
北海道	0	1	3	0	0	1	1	6
東京都	4	0	1	0	0	0	2	7
埼玉県	1	0	0	1	0	0	0	2
千葉県	0	0	0	0	0	1	2	3
神奈川県	1	2	1	0	0	0	2	6
愛知県	1	3	1	0	1	0	2	8
岐阜県	0	0	1	0	0	0	0	1
大阪府	4	1	0	1	1	1	0	8
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	0	1	3	4
沖縄県	4	0	0	4	3	2	0	13
その他	3	2	2	2	0	2	2	13
全国	18	9	9	8	5	8	14	71

	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	7日間合計	14日間合計
北海道	0	0	0	1	0	1	0	2	8
東京都	6	3	2	3	0	0	7	21	28
埼玉県	1	1	0	0	1	1	1	5	7
千葉県	0	1	2	0	0	0	0	3	6
神奈川県	1	0	2	1	1	2	5	12	18
愛知県	0	2	1	0	0	0	0	3	11
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大阪府	0	2	0	0	0	1	0	3	11
兵庫県	0	1	0	0	0	0	0	1	1
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	1	1	1	3	7
沖縄県	0	2	1	0	0	0	1	4	17
その他	0	1	3	3	2	1	0	10	23
全国	8	13	11	8	5	7	15	67	138

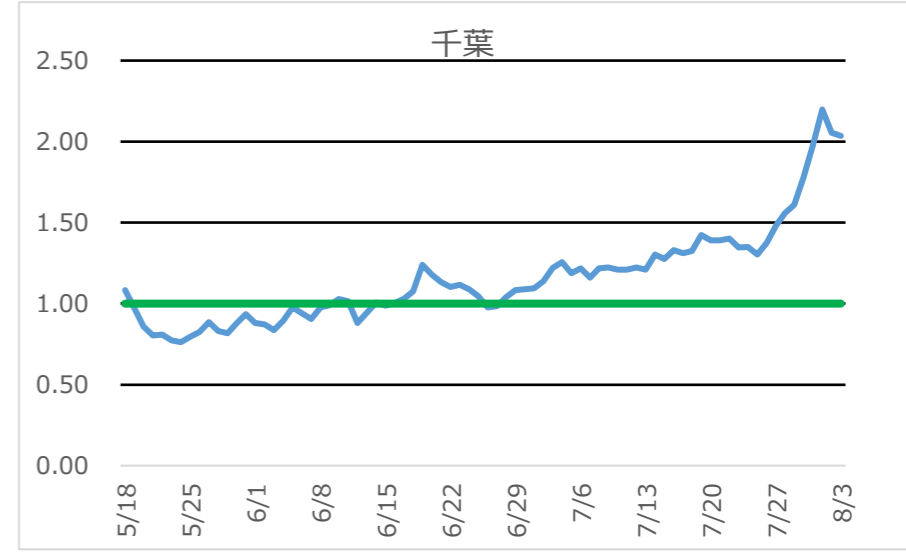
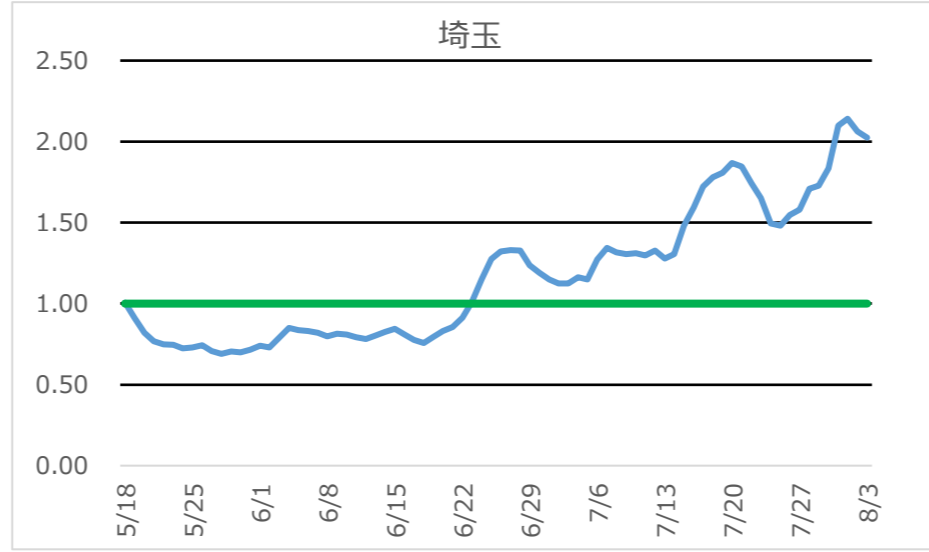
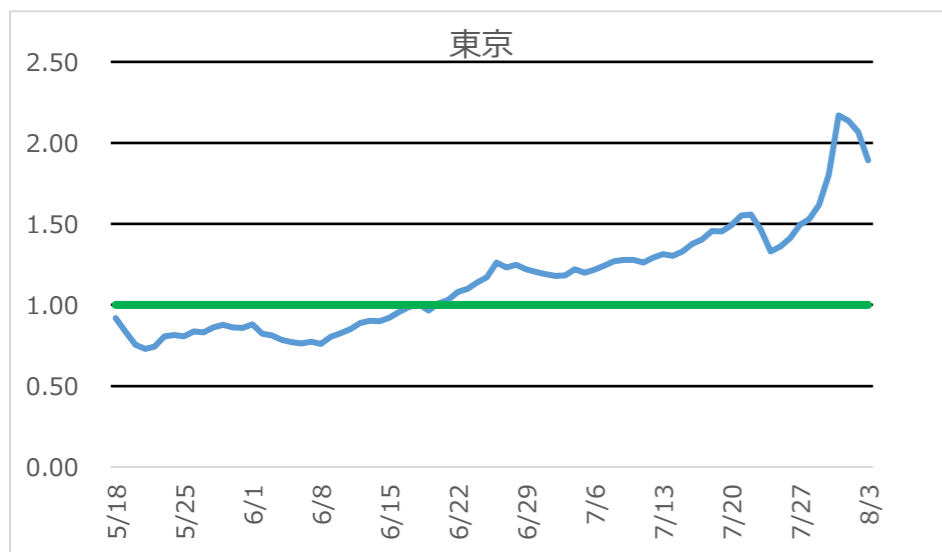
今週先週比の推移

2021/8/4

東京					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
0.92	0.81	0.88	0.76	0.92	1.08
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
1.22	1.22	1.31	1.49	1.49	1.89

埼玉					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.01	0.73	0.74	0.80	0.84	0.91
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
1.24	1.27	1.28	1.87	1.58	2.03

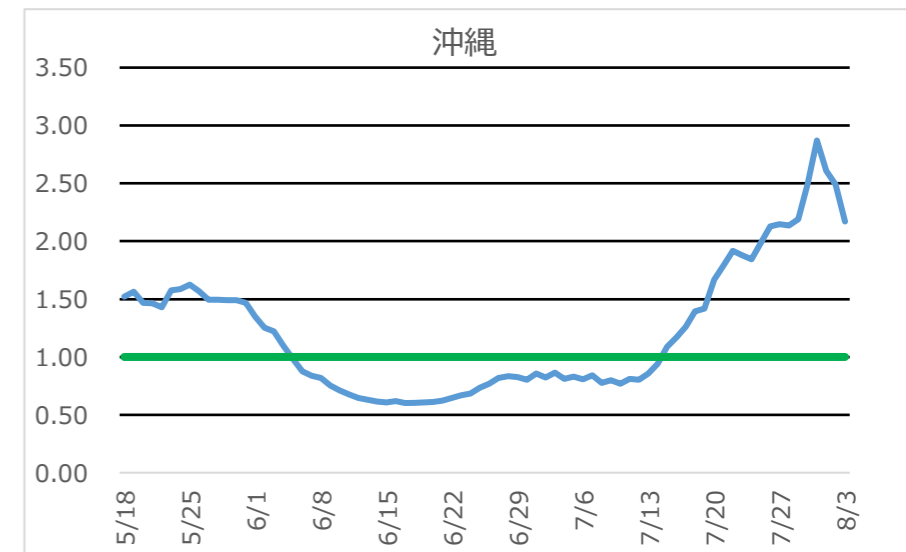
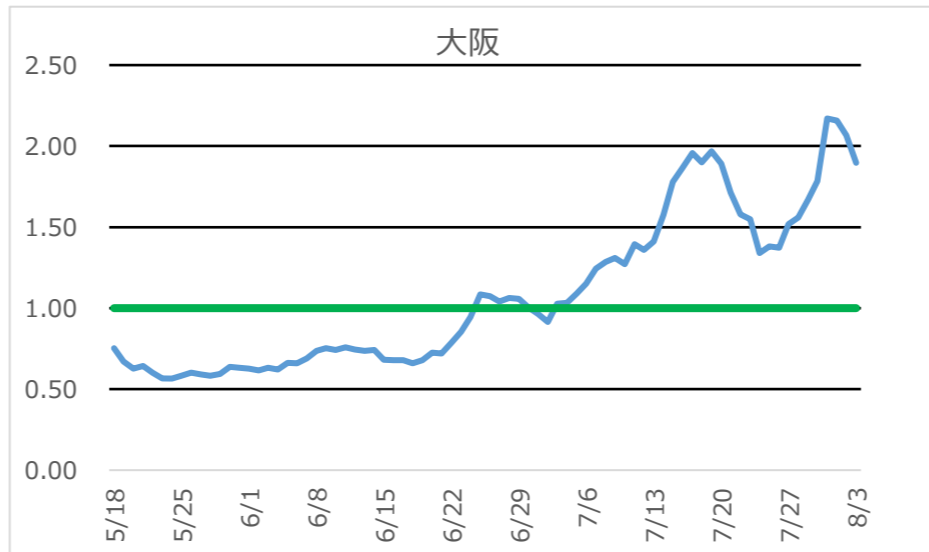
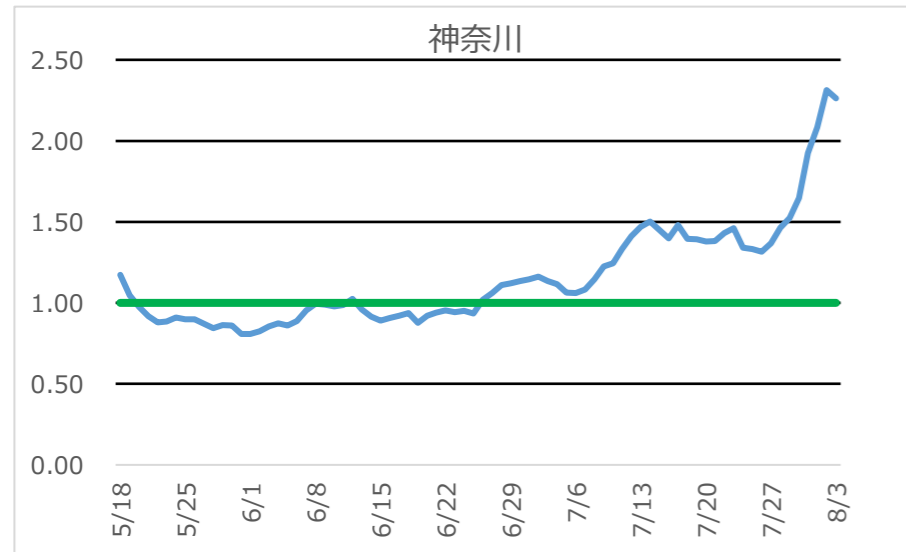
千葉					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.08	0.79	0.88	0.98	0.99	1.10
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
1.08	1.22	1.21	1.39	1.48	2.04



神奈川					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.17	0.90	0.81	0.99	0.89	0.95
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
1.12	1.06	1.47	1.38	1.37	2.26

大阪					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
0.75	0.58	0.63	0.74	0.68	0.79
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
1.06	1.15	1.41	1.89	1.52	1.90

沖縄					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.52	1.62	1.35	0.82	0.61	0.65
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.82	0.81	0.86	1.67	2.15	2.17



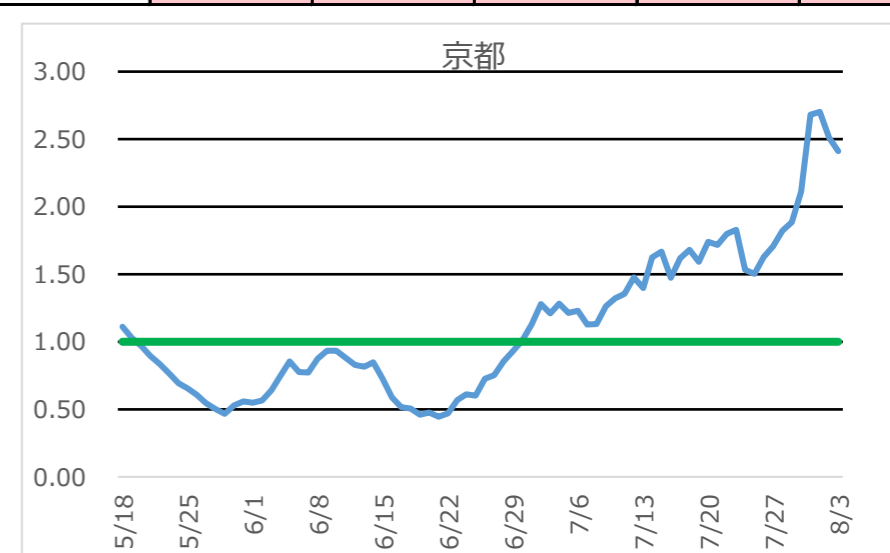
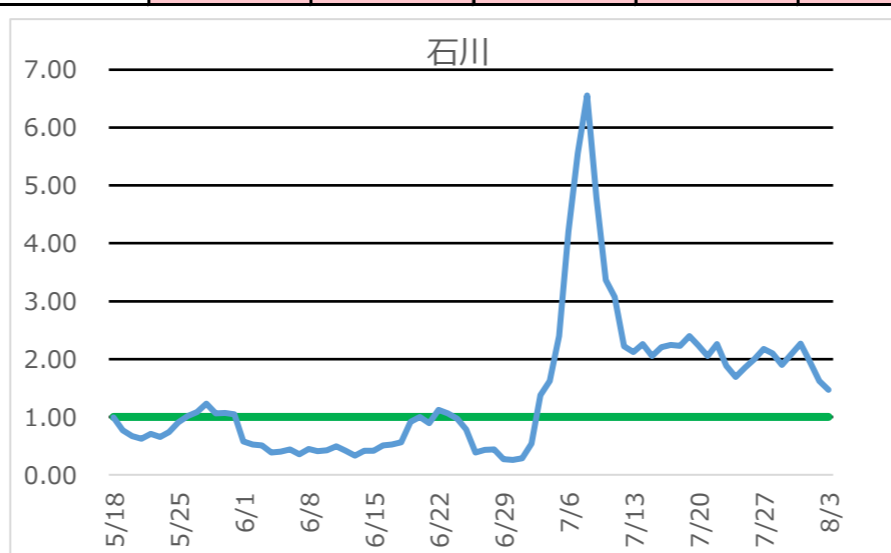
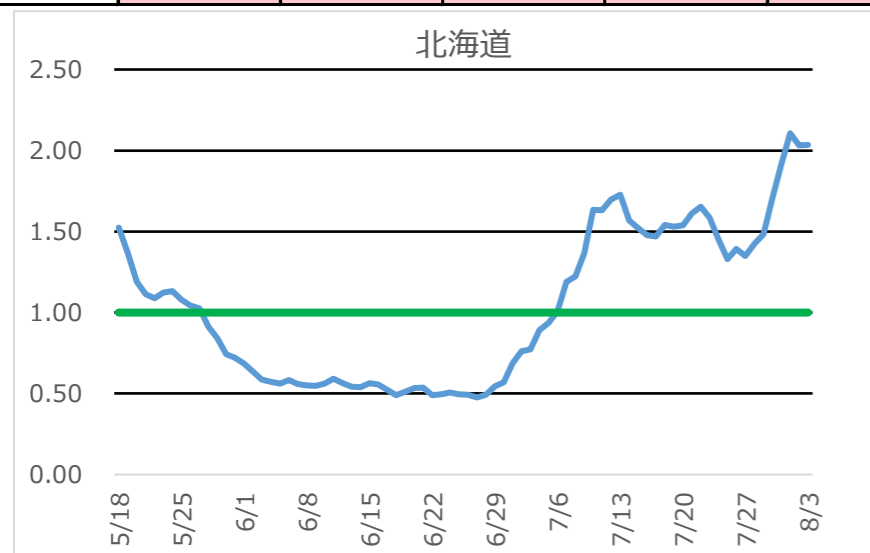
今週先週比の推移

2021/8/4

北海道					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.53	1.08	0.68	0.55	0.57	0.49
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.54	1.01	1.73	1.54	1.35	2.04

石川					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
0.99	0.91	0.58	0.45	0.42	1.12
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.27	4.20	2.12	2.24	2.18	1.47

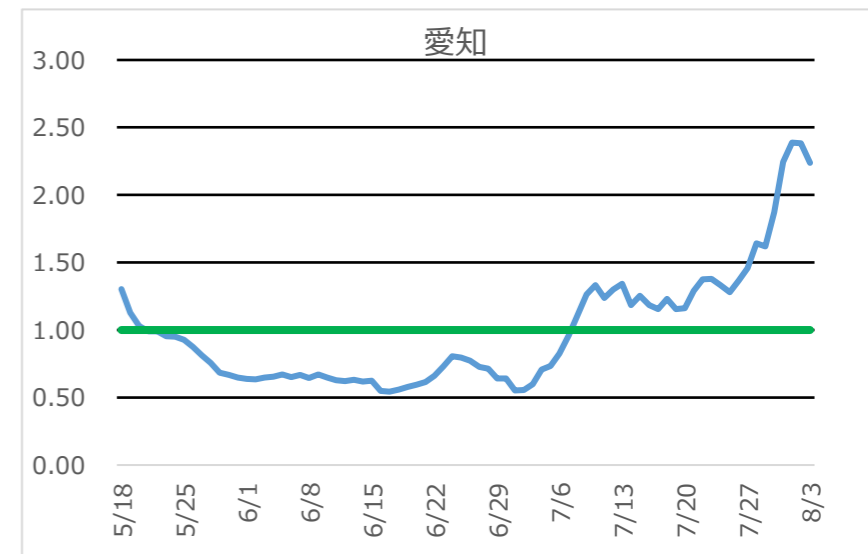
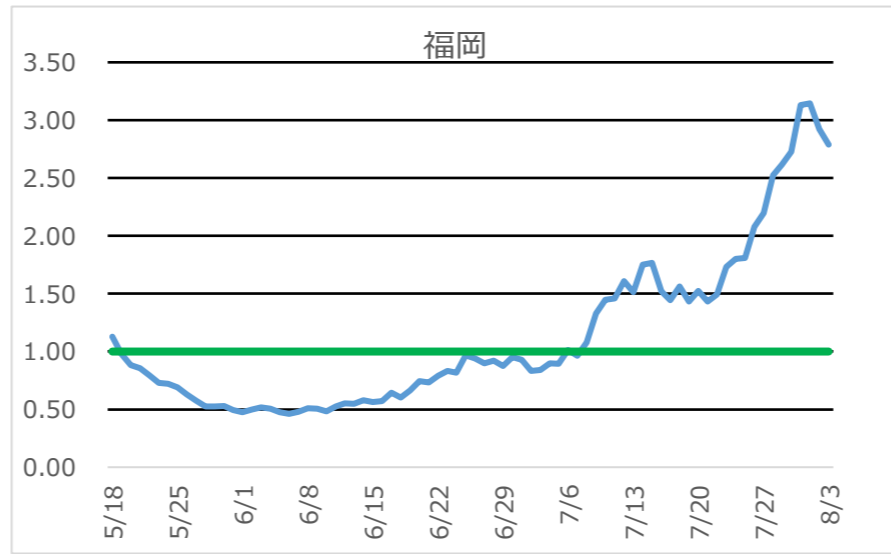
京都					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.11	0.66	0.55	0.88	0.73	0.47
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.93	1.23	1.40	1.74	1.71	2.41



兵庫					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
0.74	0.59	0.62	0.65	0.60	0.66
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.73	1.36	1.65	1.94	1.46	2.35

福岡					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.13	0.69	0.48	0.51	0.57	0.79
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.88	1.01	1.51	1.53	2.20	2.79

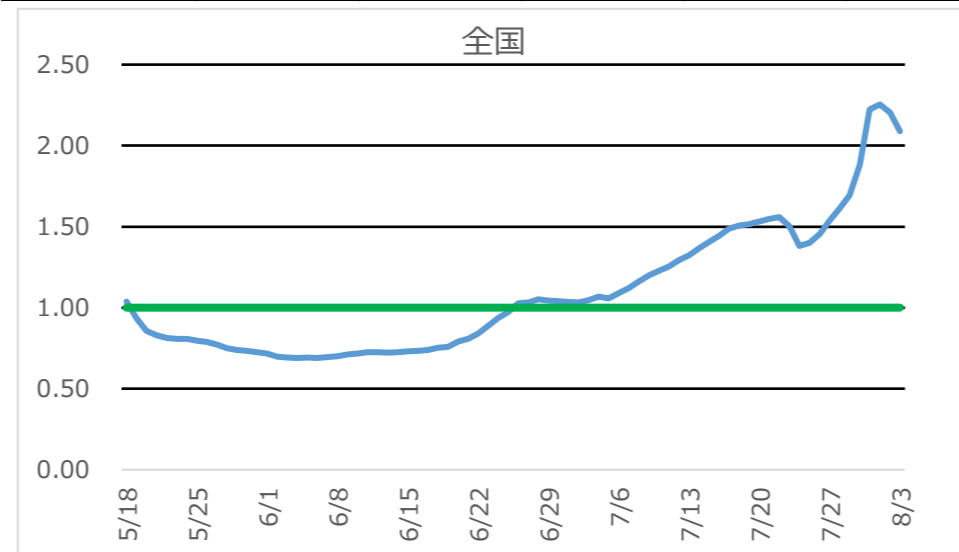
愛知					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.30	0.93	0.64	0.64	0.63	0.66
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
0.64	0.83	1.34	1.16	1.46	2.24



今週先週比の推移

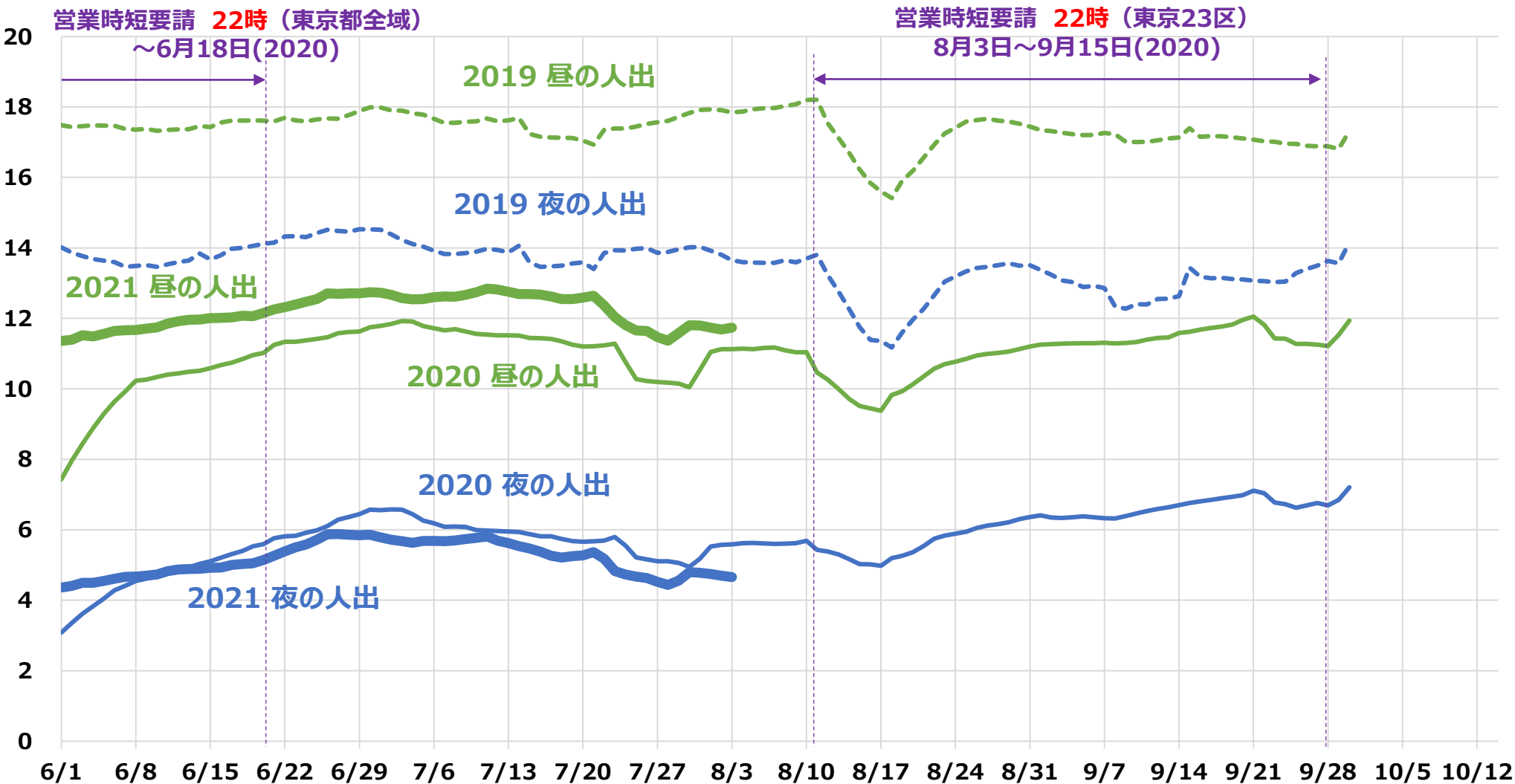
2021/8/4

全国					
5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22
1.04	0.80	0.72	0.70	0.73	0.84
6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
1.04	1.09	1.32	1.53	1.54	2.09



東京の夜と昼の人出（2019年、2020年、2021年）の推移【6月～9月】

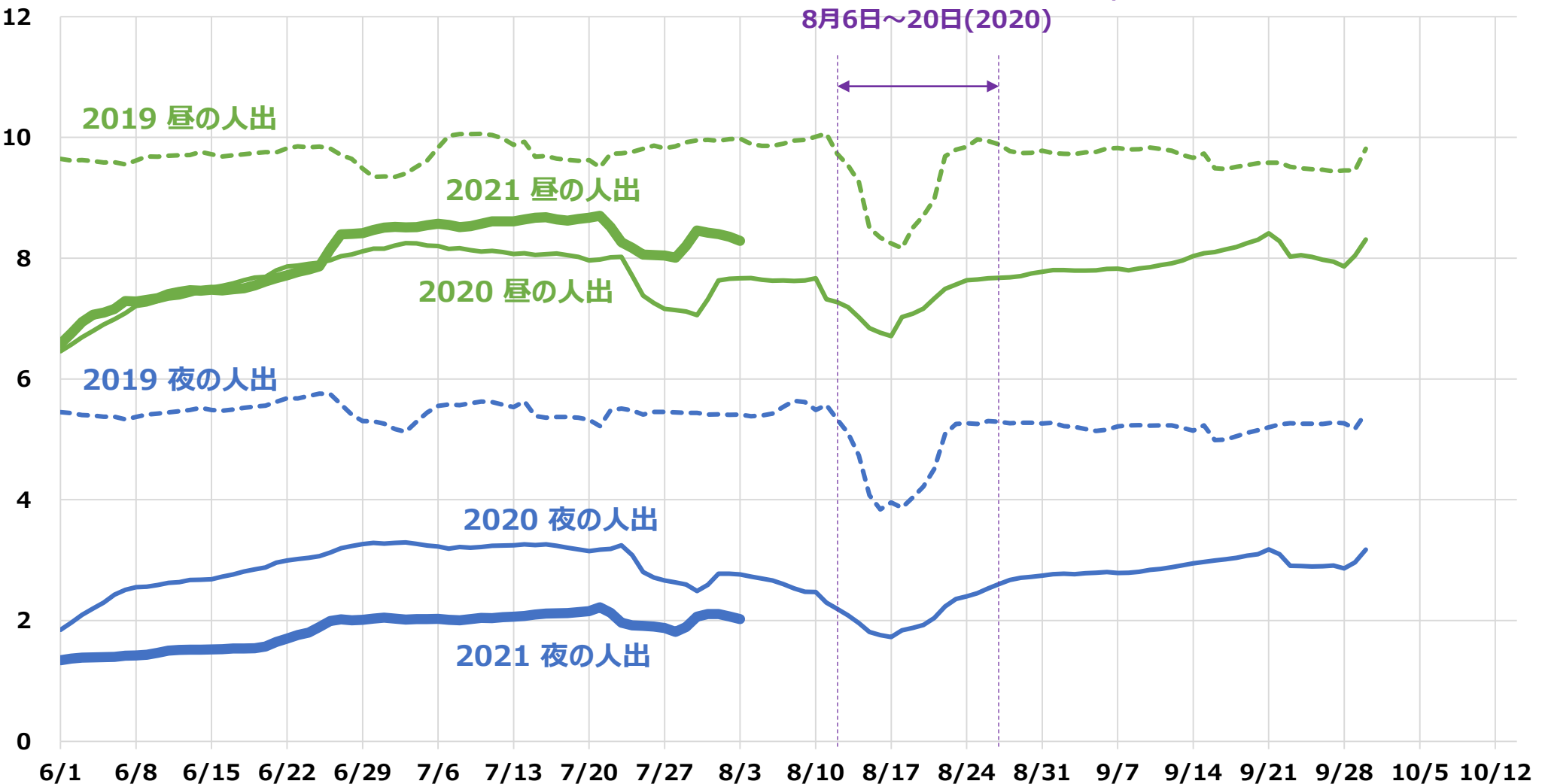
- 歓楽街の人出（21時と28時の差）_2019 [万人]
- 歓楽街の人出（21時と28時の差）_2020 [万人]
- 歓楽街の人出（21時と28時の差）_2021 [万人]
- 主要地点の人出（15時）_2019 [万人]
- 主要地点の人出（15時）_2020 [万人]
- 主要地点の人出（15時）_2021 [万人]



大阪の夜と昼の人出（2019年、2020年、2021年）の推移【6月～9月】

- 歓楽街の人出（21時と28時の差）_2019 [万人]
- 歓楽街の人出（21時と28時の差）_2020 [万人]
- 歓楽街の人出（21時と28時の差）_2021 [万人]
- - - 主要地点の人出（15時）_2019 [万人]
- 主要地点の人出（15時）_2020 [万人]
- 主要地点の人出（15時）_2021 [万人]

営業時短要請 20時（ミナミ地区の一部）
8月6日～20日(2020)



繁華街
滞留
人口
(人)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

6府県解除
(2/28)

都解除
(3/21)

3府県重点措置
(4/5)

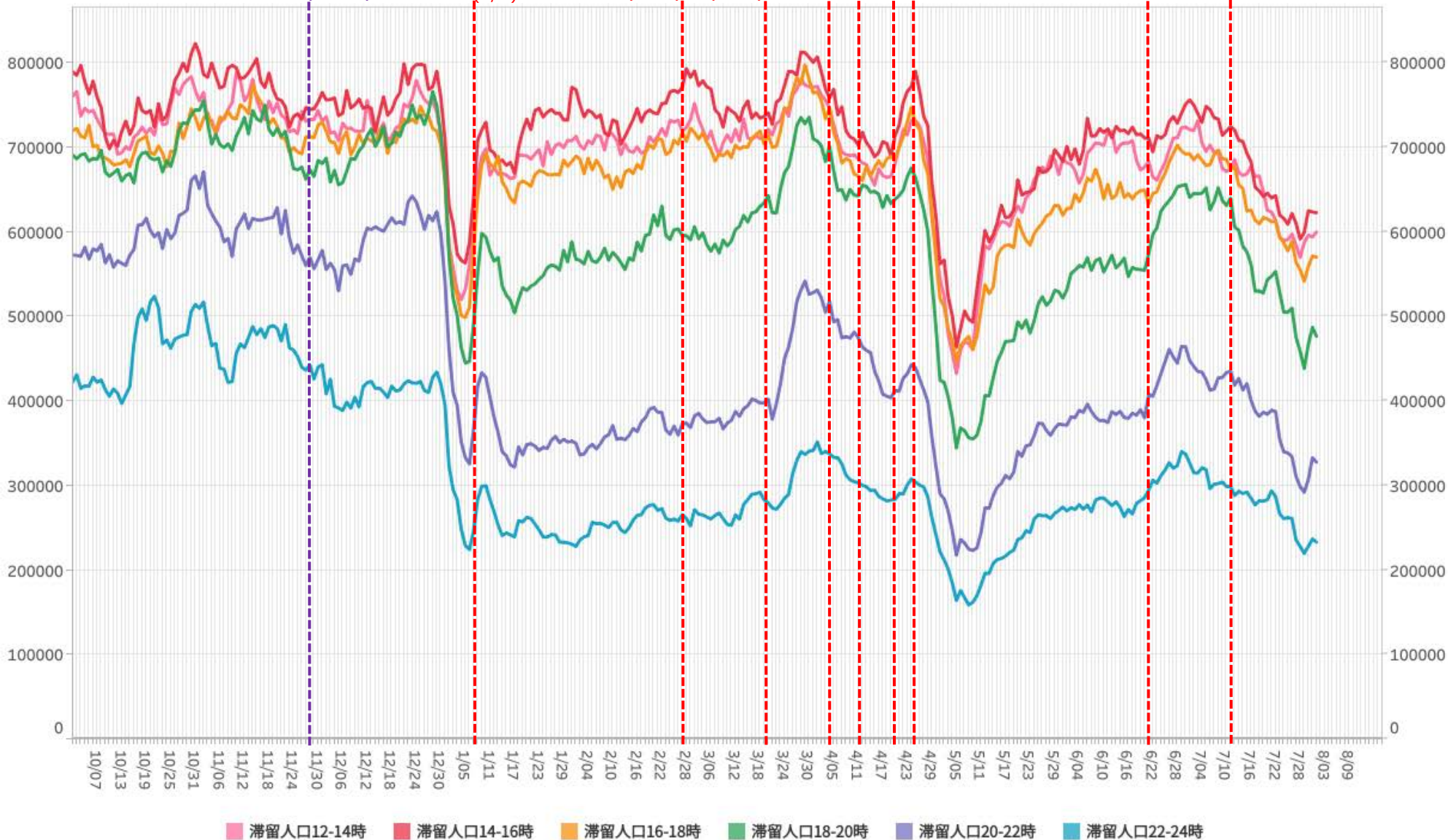
3都府県重点措置
(4/12)

4県重点措置
(4/20)

緊急事態宣言
(4/25)

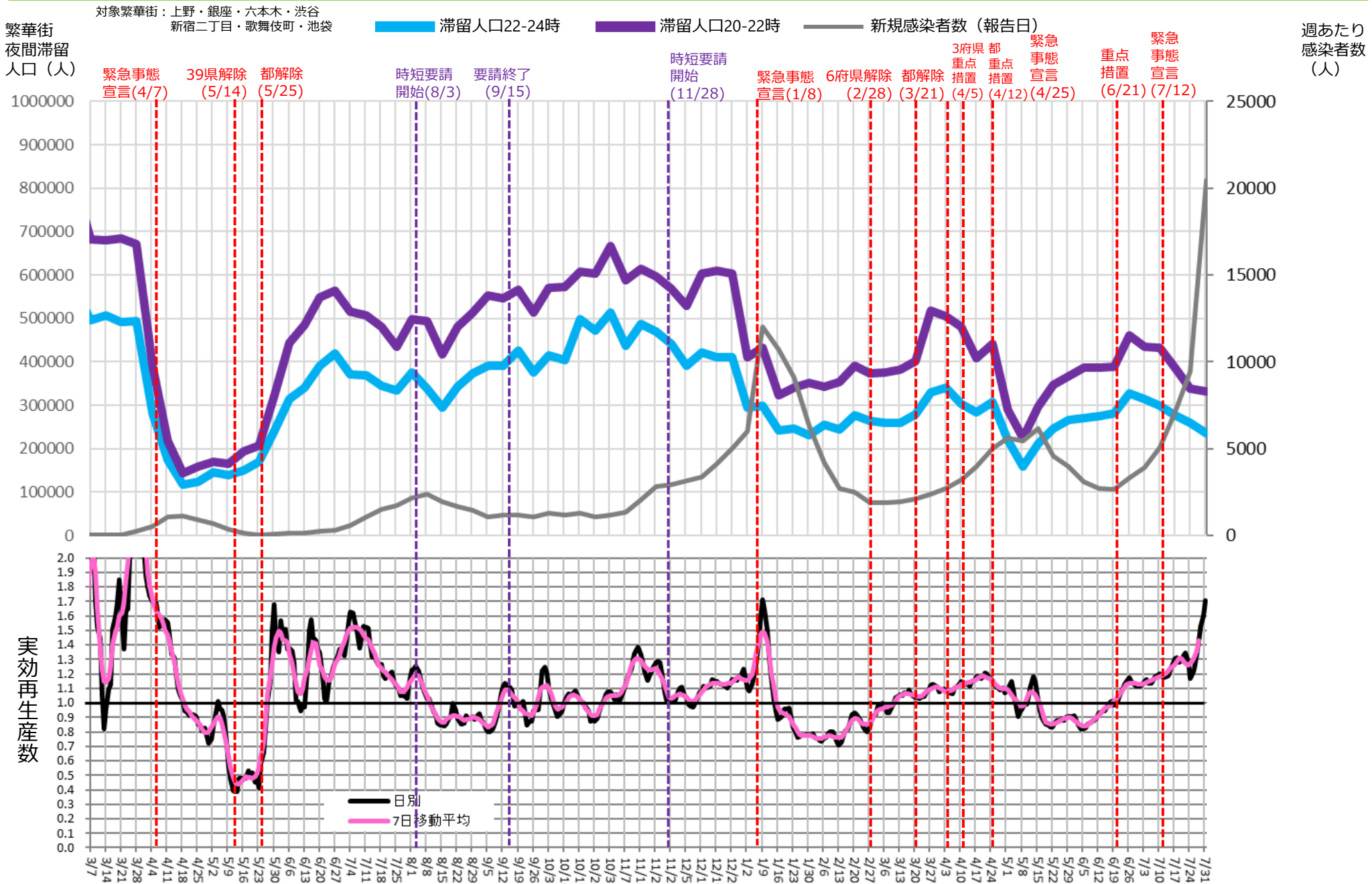
重点措置
(6/21)

緊急事態宣言
(7/12)



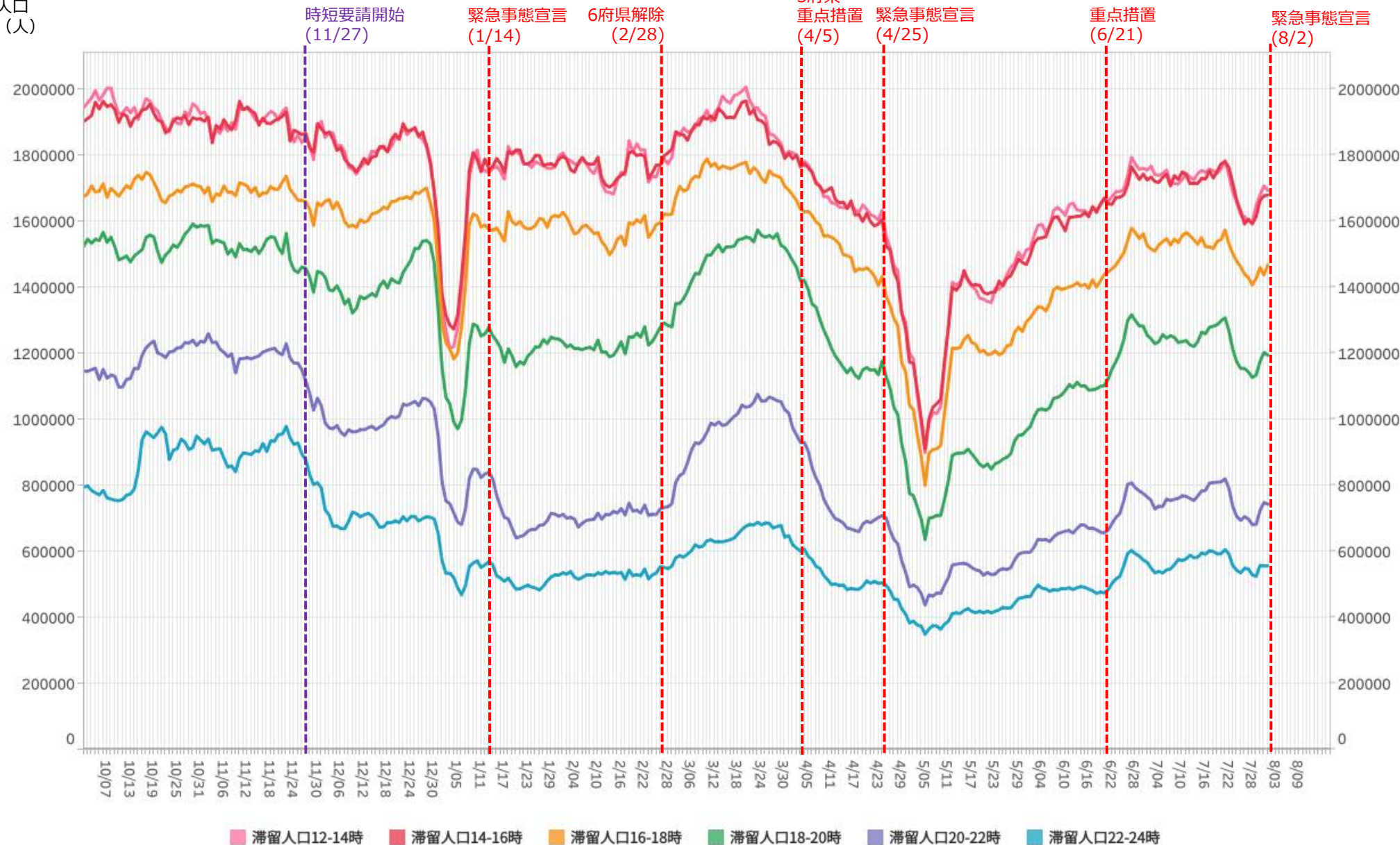
■ 滞留人口12-14時
 ■ 滞留人口14-16時
 ■ 滞留人口16-18時
 ■ 滞留人口18-20時
 ■ 滞留人口20-22時
 ■ 滞留人口22-24時

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年7月31日)



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：大阪（2020年10月1日～2021年7月31日）

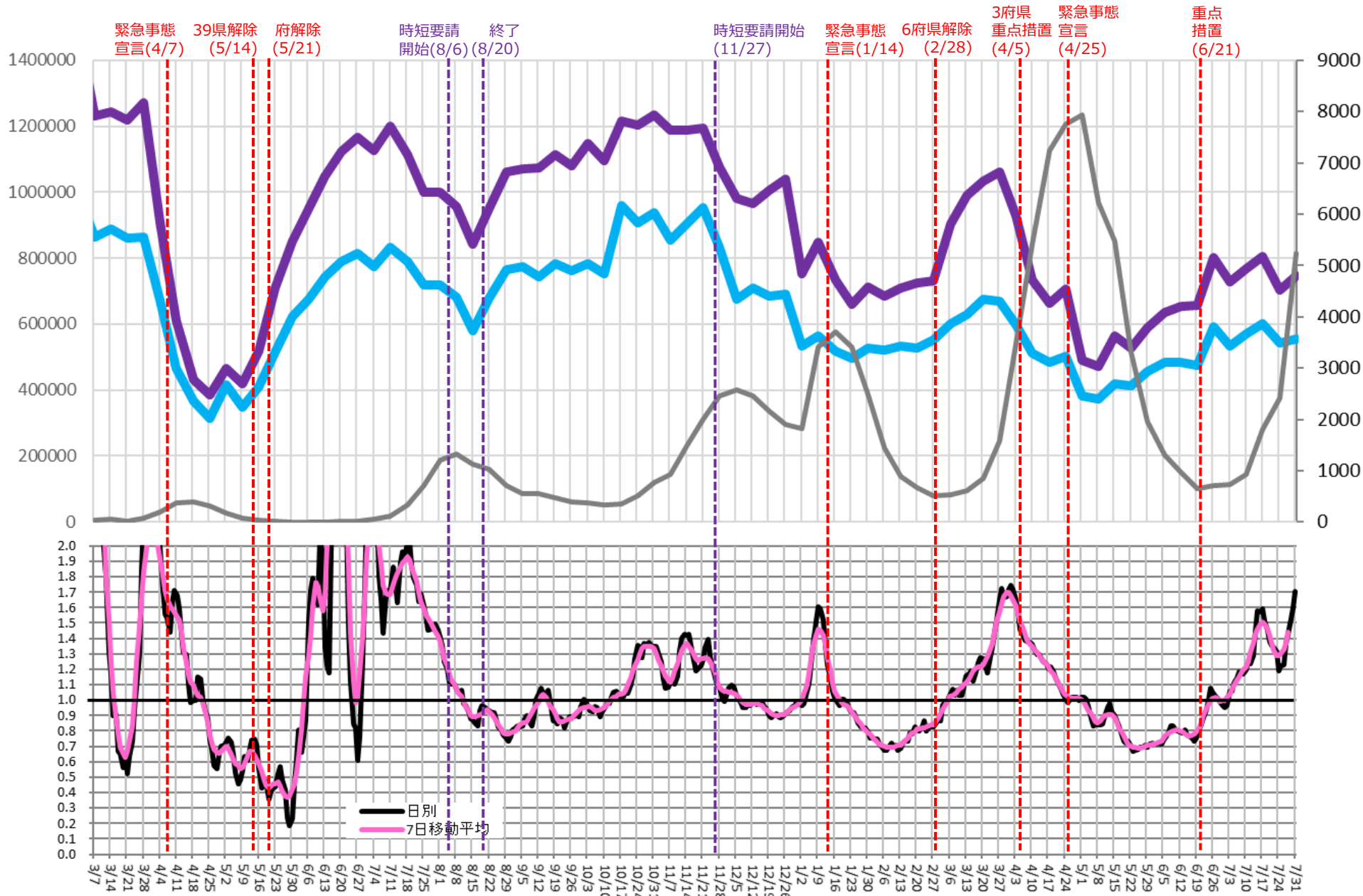
繁華街
滞留
人口
(人)



※対象繁華街は京橋・十三・新世界・天王寺・阿倍野・大阪キタ・大阪ミナミ

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:大阪 (2020年3月1日~2021年7月31日)

対象繁華街: キタ・ミナミ・京橋・新世界
天王寺・阿部野・十三



河野大臣提出資料

令和3年8月4日

7月末のワクチン接種の状況

		接種回数	接種率
総接種回数		94,553,888	—
	1回以上接種者	55,737,797	43.8%
	2回接種完了者	38,816,091	30.5%
うち高齢者（65歳以上）		58,003,914	—
	1回以上接種者	30,731,623	86.6%
	2回接種完了者	27,272,291	76.9%
うち医療従事者等		12,294,115	—
	1回以上接種者	6,532,164	—
	2回接種完了者	5,761,951	—
うち職域接種		7,723,380	—
	1回以上接種者	6,269,246	—
	2回接種完了者	1,454,134	—

注1 接種回数については以下のとおり。

- ・ 医療従事者等については、ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）に報告された7月30日までの累計（全ての都道府県で終了宣言が出されたため7月30日以降は変動なし）
- ・ 職域接種については、V-SYSに報告された8月1日までの累計（職域接種の接種回数は1週間単位での報告であるため）
- ・ 上記以外の高齢者を含む一般接種については、ワクチン接種記録システム（VRS）に報告された7月31日までの累計（8月4日公表時点）

注2 職域接種の接種実績は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総接種回数の集計に当たっては重複を除外。

注3 職域接種は、企業や大学等において、職域（学校等を含む）単位でワクチンの接種を行うもの。

注4 総接種回数に基づく接種率は日本の全人口に対する総接種回数の割合、高齢者の接種率は65歳以上の人口に対する高齢者の接種回数の割合。

○高齢者（65歳以上）ワクチン接種率【都道府県別】

都道府県名	最新の接種率 【1回目(8/3時点)】	7月末時点の接種率※1	
		速報値	最終目安値※2
		【2回目(7/31時点)】	【1回目(7/10時点)】
全国計	86.85%	76.85%	79.71%
北海道	85.48%	70.13%	75.72%
青森県	86.72%	74.59%	77.93%
岩手県	86.95%	70.35%	77.71%
宮城県	89.67%	79.25%	82.54%
秋田県	87.40%	79.32%	81.19%
山形県	91.61%	84.70%	85.91%
福島県	88.47%	77.45%	80.94%
茨城県	86.13%	70.62%	74.25%
栃木県	87.33%	70.54%	76.30%
群馬県	88.90%	80.52%	82.31%
埼玉県	87.36%	73.99%	77.50%
千葉県	86.96%	74.59%	76.96%
東京都	84.26%	75.09%	79.06%
神奈川県	86.38%	77.89%	79.15%
新潟県	90.02%	80.07%	81.59%
富山県	88.36%	77.21%	78.73%
石川県	89.36%	83.84%	84.90%
福井県	89.61%	80.47%	82.26%
山梨県	87.83%	81.19%	83.10%
長野県	89.23%	81.10%	82.90%
岐阜県	91.62%	87.93%	89.06%
静岡県	86.38%	72.77%	74.30%
愛知県	89.23%	80.34%	81.97%
三重県	87.93%	78.30%	80.75%
滋賀県	91.35%	85.64%	87.31%
京都府	84.17%	76.66%	78.12%
大阪府	82.38%	71.86%	77.97%
兵庫県	85.91%	77.25%	79.34%
奈良県	87.49%	81.08%	82.87%
和歌山県	87.45%	82.79%	84.07%
鳥取県	88.08%	79.22%	80.35%
島根県	86.76%	72.51%	74.55%
岡山県	88.74%	80.98%	82.63%
広島県	87.18%	76.95%	78.05%
山口県	86.53%	81.45%	81.87%
徳島県	88.04%	80.86%	83.48%
香川県	84.60%	73.87%	78.60%
愛媛県	86.79%	80.18%	81.92%
高知県	84.85%	79.15%	81.76%
福岡県	87.41%	79.83%	82.51%
佐賀県	90.46%	85.85%	86.83%
長崎県	86.39%	75.76%	78.68%
熊本県	89.97%	80.97%	84.94%
大分県	88.14%	78.56%	82.55%
宮崎県	87.35%	78.17%	79.28%
鹿児島県	87.65%	77.19%	79.99%
沖縄県	82.83%	71.97%	75.07%

※1 VRS未入力の数件が一定存在するため、7月末時点の接種率は今後増加が見込まれる。

※2 7/10は7/31の3週間前（標準接種間隔）であり、当該時点における1回目接種率が、最終的な7/31時点の2回目接種率の目安となる。

○高齢者（65歳以上）ワクチン接種率【市区町村・団体区分別】

団体区分	最新の接種率 【1回目(8/3時点)】	7月末時点の接種率 ^{※1}	
		速報値 【2回目(7/31時点)】	最終目安値 ^{※2} 【1回目(7/10時点)】
全国計	86.85%	76.85%	79.71%
指定都市＋特別区	84.63%	74.32%	77.98%
その他の市	87.31%	76.84%	79.53%
町村	89.56%	83.39%	85.29%

※1 VRS未入力の数件が存在するため、7月末時点の接種率は今後増加が見込まれる。

※2 7/10は7/31の3週間前(標準接種間隔)であり、当該時点における1回目接種率が、最終的な7/31時点の2回目接種率の目安となる。